ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION 全酪連会報

平成27年度会員役職員研修
米国視察研修報告

嫁・婿が語る酪農の魅力／石井晃子さん

農業協同組合法の改正について

「第2回 酪農とちぎ presents
RADIO BERRY カップリングパーティー」が開催される

全酪連の冬ギフト

酪農トピックス／
完成!! 福島県酪協「復興牧場・㈱フェリスラテ」（仙台）ほか

人事異動

酪政連活動報告

日本酪農見て歩紀（帯広市上川郡十勝清水町 渋谷正則牧場）

11

2015 November No.602

全国酪農業協同組合連合会

嫁婿が語る酪農の魅力㉘

視野を広く持ち、多くの可能性を秘めた酪農を！

11月の嫁　石井牧場（かながわ酪農業協同組合）　石井晃子さん

「嫁・婿が語る酪農の魅力」第28弾として、石井牧場（かながわ酪農業協同組合）の石井敏貴、晃子夫妻にお話を伺いました。

私たちの牧場がある伊勢原市は、神奈川県のほぼ中央に位置していて、南部を平塚市、西部を秦野市、北東部を厚木市と接し、東西間に東名高速道路、国道246号、小田急電鉄が走っています。アクセスは非常に良く、東京・横浜までは1時間ほどで行ける距離に位置しています。

自然も豊かで、山林原野が約1／3を占めているため、その恵まれた自然環境と温暖な気候から、関東一円の人々の憩いの地となっていると思います。

――石井さんおすすめの伊勢原市観光スポット、食を教えてください。（ご夫妻）

風景で好きなのは、丹沢大山国定公園の一角にシンボルとして位置する「大山」に渋田川（しぶたがわ）という川があるのですが、春になると脇に芝桜や桜が大きく咲いてとても綺麗です。あとは、やはり市内に広がる田園風景ですかね。飲食は、近くに東海大学病院があるんですけど、そこのバスロータリー前にあるスターバックスには良く行きますね。あとは、地元「焼肉かくめい」や「やきとり大吉」というお店もお勧めです。二人ともお酒を飲むことが大好きなのでどちらも良く行きますよ（笑）！

――石井牧場の概要、誕生経緯、家族構成について教えてください。

石井牧場では、現在成牛31頭、育成牛5頭を飼養しています。自給飼料も扱っていて、デントコーン（コーンサイレージ）・稲わら・イタリアンライグラス・えん麦を作っています。

家族構成は、主人（敏貴27歳）、私（晃子27歳）、義父（重滿60歳）、義母（裕美子54歳）、義祖母（久子84歳）で、私たちは実家の近くに住んでいるため牛舎作業時には通っています。牧場の誕生経緯としては、義祖父がもともと動物好きで、馬などを飼っていたのですが、その時の近隣の方々に酪農家が多くいたため、その影響もあり酪農を始めたそうです。業務形態としては、基本的に搾乳・飼料給与などを主人と義父がこなし、義母がサポー

搾乳牛舎

トしています。私は現在会社員として横浜市内に勤めているため、なかなか日々の作業に取り組むことはできないのですが、土日などは牛舎に入り作業を手伝っています。

――ご結婚までの経緯を教えてください。

私たちは学生時代に出会いました。同じ大学の研究室で話す中で趣味などが合い、親交が深まりました。私の実家は酪農とは全く関わりのない家庭だったんですが、私自身酪農に非常に興味があったため意気投合しました。そして、6年間お付き合いし結婚にいたりました。共通の趣味としては、音楽・バイク・お酒を飲むことが好きなので、土日などは一緒にバイクでツーリングに行ったり、音楽を聴いたり、居酒屋に飲みに出掛けたりしています。

牛舎外観

――酪農の魅力、また最も大変だったことを教えてください。

やっぱり搾りたての牛乳を飲めることですかね。あのクリーミー感を味わえるのは本当に幸せです(笑)。今は、毎日の牛舎作業を行っているわけではないのでそれほど大変さを感じてはいません。ただ、その時がきたら頑張ってやっていきたいです！

――今後の目標、夢を教えてください。(ご夫妻)

〈奥様〉

二つあるのですが、一つ目は自分たちが絞った牛乳でヨーグルトなどその他の加工品を作ってみたいです。やっぱり生乳で生計を立てることが一番なのだと思うのですが、6次産業化にとても興味があります。二つ目は、飼養管理です。少しずつ主人に教えてもらいながら一緒にやっていきたいと思っています。

育成牛舎

〈ご主人〉

規模を大きくしたいですね。頭数を増やしたいというわけではなく、一頭一頭をしっかりと飼養管理し一頭のもつ力を最大限に引き出しつつも、疾病を出さずにいけることが一番だと思っています。あとは妻も言っていたのですが、いつか6次産業化などにも挑戦していけたらいいですね。

――ご主人から奥様へ一言お願いします。

忙しいのにいつも美味しいご飯を作ってくれてありがとう。そして、一緒にお酒を飲んでくれてありがとう、嬉しいです！

――奥様からご主人へ一言お願いします。

いつもお疲れ様。とても熱心でよく牛舎改造や整備をしているけど、怪我には気を付けてね！

そして、いつもありがとう。

今回、石井ご夫妻にお話を伺ってみて、終始お二人が笑顔で話されていたのが印象的でした。さらに酪農関係に関して、6次産業化や飼養管理などの他にも多くのことに興味を持っておられるようで、視野の広さを感じさせられました。非常にお若いご夫婦！今後のアクティブなご活躍に注目です！

(N・Y)

平成27年度会員役職員研修

米国視察研修報告

▲ 坂主団長（右から3人目）、金井会長（右から2人目）、内匠組合長（左から2人目）、松窪監事（左から3人目）、生野所長（左端）、丹戸（右端）

平成27年9月30日㈬～10月9日㈮の10日間にかけて、平成27年度会員役職員米国視察研修が実施されました。本研修の目的は、米国の穀物・粗飼料情勢の視察研修により情報の共有を行うこと、そして、参加者同士や現地関係者との意見交換を通し、我が国の酪農経営や酪農組織の方向性について知見を深め、意識を高めることにあります。

今回の研修参加者は5名（随行者1名含む）で、アメリカ中西部での穀物情勢視察及び西海岸での粗飼料情勢視察を中心に、北米大陸を横断する行程で実施されました。

＜参加者＞

氏　名	会　員　名	役　職
坂主　正　（団長）	酪農とちぎ農業協同組合	代表理事組合長
金井　健志	赤城酪農農業協同組合連合会	代表理事会長
内匠　秋夫	鹿児島県酪農業協同組合	代表理事組合長
松窪　俊郎	全国酪農業協同組合連合会	常任監事
丹戸　靖	全国酪農業協同組合連合会	購買部酪農生産指導室

9月30日㈬ イリノイ州シカゴ

シカゴ商品取引所（CBOT）

シカゴ商品取引所（Chicago Board of Trade）は、1848年に設立された最も歴史が古い商品取引所です。CBOTで取り扱われている商品の中でも、とりわけ穀物に関しては、米国が世界最大の穀類生産国であることから世界で最も注目されている市場となっています。2007年7月には、シカゴ・マーカンタイル取引所を運営するCMEグループに買収されたため、CBOTで扱われている商品は農産物、エネルギー、貴金属、債権等にまで及んでいます。

CBOTで取引を行っている企業は、流通業者、製油業者、機関投資家が代表的ですが、穀物生産農家や畜産農家も取引に参加しています。CBOT等で行われている「先物取引」とは、「値動きの大きな商品」を「将来の決められた期日」に「現時点で取り決めた価格」で売買する権利を取引するものです。穀物生産農家や畜産農家から見れば、先物で（権利を）売ることにより、原物の販売価格が将来低下したとしても、すでに価格が決められているので、利益を守ることができます。我が国では、原材料や販売価格の変動を緩和する制度として安定基金や共済が整備されていますが、米国では、それらの制度だけではなく、経営主それぞれが〝マーケット〟を利用し、経営上の危機管理を行っていることになります。

▲ CBOT

取引所は電子取引で行われることが多くなってきており、以前のように仲買人同士が指や腕でサインを送り合う光景は見られません。しかし、我々が訪問した9月30日は、USDA（米国農務省）の四半期在庫が発表される日であったため、取引フロアはいつもより賑やかな状況でした。米国のテレビ局の中継も入っており、世界で注目されている市場であることが実感できました。

10月1日㈭ イリノイ州シャンペーン

穀物生産農家／カントリーエレベータ

2013年に米国で生産されたトウモロコシは約130億ブッシェルで、このうち米国中西部のアイオワ州、イリノイ州、ネブラスカ州、ミネソタ州の4州で米国全体の51％が生産されています。

今回、我々はGavilon社の山口祥吾アシスタントディレクター（丸紅より出向）の案内により、イリノイ州シャンペーンの穀物生産農家Greg Steirwalt氏の圃場を視察しました。Steirwalt氏は親子二代による家族経営でトウモロコシと大豆の生産を行っています。圃場の面積は約720haで、全ての作業（圃場整備～作付け～収穫～保管～輸送）を家族労働のみで行っています。圃場で使用する機械・車両も全て自家所有しているため、生産から出荷まで全て自己完結する経営形態です。

我々が訪問した日は、トウモロコシ収穫の最盛期であったため、間近で収穫作業を視察することが出来ました。1枚の圃場面積約60ha～120haの中を8条刈のコーンバーベスタで収穫する風景は豪快かつ効率的で、その熟練された作業風景にしばらく見入ってしまいました。さらに、Steirwalt氏のご好意でハーベスターやワゴン

に同乗させていただく機会を得、日本とは圧倒的に違う面積の広さや収穫のスピードを体感させて頂きました。

この地域はトウモロコシも大豆も1期作のみで裏作もないため、作業の季節的集約性が高い農業を営んでいます。仕事にメリハリがあり「羨ましい」という印象を持ちましたが、その反面、価格や生産量の変動が大きいため、経営を安定させる努力は大変であろうと思われました。

参加者からは〝後継者問題〟について質問が出されました。米国農業では、「息子が継がなければならない」という意識は薄く、息子と言えども、後継者の一選択肢に過ぎません。経営継承も売買によって行われているため、〝後継者がいないから離農〟というケースは少ないようです。

農場見学の後、Steirwalt氏と山口氏の案内で地域のカントリーエレベータを視察させていただきました。地域の農家のほとんどが出荷しているカントリーエレベータで、収容力は7万t、受入の都度、水分の検査を行っています。水分の基準は大豆13％以下、トウモロコシ15％以下となっており、この基準を上回ると買い取り価格がディスカウントされる仕組みです。カントリーエレベータには乾燥施設も備えられていましたが、多くの農家は自分で水分をチェック・調整してから搬入しています。

Non-GMOのトウモロコシも取り扱っており、搬入時の分析と徹底した分別管理が行われていました。

▲ トウモロコシの圃場

▲ ワゴンから輸送車へ

▲ カントリーエレベータ受入

▲ カントリーエレベータのサイロ

10月1日㈭　イリノイ州アルトン

ロック&ダム26（ミシシッピ川）

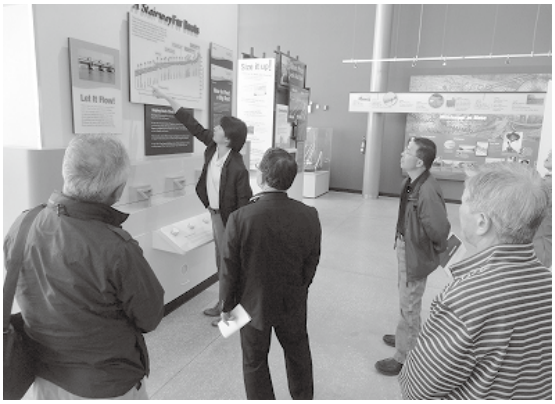
ミシシッピ川はミネソタ州北部のイタスカ湖を水源とし、メキシコ湾へ注ぐ全長約3，779kmの大河で、北米最長を誇ります。米国内では歴史的に非常に重要な輸送の大動脈になってきましたが、上流のミネアポリスから中流のセントルイスまでの約1，200kmの区間においては、約120mの高低差しかなく、船の航行が困難な浅い場所が点在します。貨物船を運航させるためには最低5mの

水深を保つ必要があり、それゆえ、水位を調整して船の通過を可能にする水門とダム（ロック&ダム）がこの間に29カ所設置されました。我々が視察したのは26番目のロック&ダムで、29個の中では最も新しい施設です。

ロック&ダムは水位を調整してバージ（艀）を通すと共に、ダムにより川の速度を調整する機能があります。運良く、我々も1船団がこのロック&ダムを通過する姿を見ることが出来ました。ロック&ダムの全長は約1・2kmありますが、ガイドウォールと艀の間は50cm程しかなく、非常にゆっくりとしたスピードで通過せざるを得ません。手元の時計で通過時間を測ってみると、約50分程度かかっていました。

艀輸送はエネルギー効率が良いという利点があります（トラック輸送の3・7倍）。しかし、近年は干魃で水位が低くなり、艀輸送に支障をきたす場面も見られるようになりました。今後、代替輸送方法や保管量の検討が必要になるのではないかと思われました。

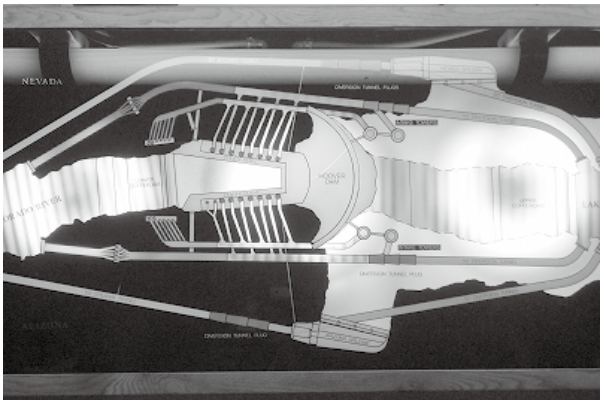
▲ ロック&ダムを通過する艀


▲ ロック&ダム博物館

10月3日㈯ アリゾナ州ブラック渓谷
フーバーダム（コロラド川）

コロラド川にあるフーバーダムは、ラスベガスの南東56km、アリゾナ州とネバダ州の州境に位置する米国を代表するダムです。貯水量は約400億tで我が国に存在するダムの合計貯水量300億tを大きく上回ります。高さ221m、幅379mの巨大なアーチ式ダムですが、驚くことに、1931年（昭和6年）の着工後わずか5年間で、このダムが完成しているのです。これは、当時のルーズベルト大統領が推し進めた世界恐慌克服のための景気回復策（ニューディール政策）の一環として建造されたもので、国を挙げての一大事業だったことが窺えます。治水、水力発電所としての機能はもちろんのこと、政治的にも歴史的にも米国にとって大変重要な意味を持つ建造物となっています。

フーバーダムは、アリゾナ州、カリフォルニア州、ネバダ州の3州に電力を供給しているほか、飲



▲ フーバーダムの構造

▲ フーバーダム

料水、工業用水、灌漑用水の供給源にもなっています。なかでも、我が国に多くの乾牧草を輸出しているカリフォルニア州インペリアルバレーに灌漑用水を供給していることから、フーバーダムを巡る水関連政に多くの乾牧草を輸出しているカリフォルニア州インペリアルバレーに灌漑用水を供給していることから、フーバーダムを巡る水関連政策の動向は世界の農業や食料事情に強いインパクトを与えています。

フーバーダムの現在の貯水量は、これまでの歴史の中で最も少なく、キャパシティの40％程度しかありません。温暖化によりロッキー山脈への降雪量が減少していることが原因です。このことにより、近年、農業用灌漑水の利用が制限されており、その下流にあるインペリアルバレーでも作付面積を減らさざるを得ない状況となってきています。どんなに広大な土地があっても「水」が無ければ農業は成立しない。日本で農畜産業を行う意義を改めて実感しました。

10月5日㈯　カリフォルニア州エルセントロ

ボーダーバレー・トレーディング

■施設概要

会社設立1989年3月。1991年ブローリー工場、2006年ターロック工場を立ち上げました。取り扱っている草種はアルファ、スーダン、クレイン、バミューダ、バミューダストローと幅広く、現在、カリフォルニア州では最大の乾牧草輸出業者となっています。なお、当社は乾牧草事業のみならず、肥育事業、運送事業、そしてエネルギー事業（液化天然ガス）を手掛けていることから、地域の農産複合事業体として地域に根ざした企業だと言えます。

▲ BVTにて
グレッグ・ブラウン社長（左から4人目）、
グレッグ・ジャクソン営業部長（右から3人目）

当社では、グレッグ・ブラウン社長とグレッグ・ジャクソン営業部長の案内による工場施設見学の他、乾牧草のマーケット、灌漑、米国酪農情勢、新興国の情勢についての活発な意見交換が行われました。

工場施設の見学では、乾牧草のトレーサビリティやスタック管理について質問が多く出され、1つ1つの回答に深くうなずく参加者の姿が見られました。これまで日本から当社に上げられてきた酪農家の要望や要請が活かされ、当社の品質管理システムが構築されていることが確認できました。今後も供給側と利用者側の双方において、問題の提起→解決手段の模索→改善→評価を繰り返すことが重要だと思われました。

▲ BVTミーティング

▲ スタック管理状況の確認

■マーケットの変化

当社の乾牧草の輸出先は、出荷量の多い順に①日本、②中国、③韓国、④その他（台湾、UAE、香港、ベトナム等）ですが、日本向けは減少傾向、中国向けは増加傾向にあります。これは、当社に限ったことではありません。すでに、アル

ファルファのアメリカ最大の輸出国は日本から中国に変わっています。昨年のアルファルファの実績を見ると、米国からの対日輸出量が年間約40万t輸出しているのに対し、対中輸出量は約80万tでした。ブラウン社長の話では、今年の中国への輸出量は120万tを超え、その後も増加傾向は変わらないと考えているとのこと。さらに、新興国の中ではUAEの政府関連企業による入札が増えており、今後の需要動向における不気味な存在となっています。

一方、乾牧草の生産サイドの状況を見てみると、生産効率を上げるために、ビッグベールでの収穫が主流となっており、従来、日本が取り扱ってきた3タイ製品の生産が厳しくなっています。日本の酪農現場におけるグレード選択と「使いこなし」が重要となってくると思われました。

■灌漑

インペリアルバレーのような砂漠地帯で農業ができるのは、コロラド川を水源とする灌漑設備が整備されているからです。ロッキー山脈の雪解け水は、我々が視察したフーバーダムを通り、農業用灌漑水路に引き込まれ、インペリアルバレーに流れ着きます。この地域はコロラド川より低地にあるため、傾斜を利用して直接、圃場まで水を流し込むことができるのです。非常に効率的で投資が少ない灌漑設備となっています。

▲ 灌漑水路

▲ ソルトンシー

農業用水として使用された後の排水は、最終的にソルトンシーへ流れ込みます。元々、ソルトンシーはコロラド川の氾濫により出来た淡水湖でしたが、今では農業用排水に汚染され、地域でも重大な環境問題へと発展しています。干魃による水不足に加え、水の出口でも課題を抱えている状況です。それゆえ、インペリアルバレーでは農作物の作付制限が進んでおり、転作地には太陽光パネルが並ぶようになってきました。この地域が持続的な農業を営んでいけるかどうか？我々は注視する必要があります。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★

まとめ

今回の視察研修を通して、米国内における『水不足』という一つの事実をあらゆる角度から認識することができました。我が国の豊かな「水」は重要な資源です。これが、日本で農畜産業を行う一つの大きな意義であり、酪農生産基盤維持拡大の要素になるものです。この思いを参加者全員が共有できたことはこの視察研修の成果と言えます。

その一方で、我々は、飼料原料や乾牧草のマーケットが米国内の酪農情勢や新興国の動向に左右されている現実を目の当たりにしました。飼料情勢は「世界の経済・政治情勢を映す鏡」と言えるかもしれません。我々は広い視野と知見を持って酪農経営戦略を構築していく必要があります。

くしくも、研修期間中の10月5日にTPP大筋合意のニュースが飛び込んできました。移動中も盛んにこのことが話題になりましたが、結局は、「我々が日本で酪農を続けることの意義を認識し、それを発信することに尽きる」という思いを強くしました。

最後に、この視察研修に参加された全員の皆様、現地で案内をしていただいた方々、そして随行の機会を与えていただいた関係者の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

（購買部　丹戸　靖）

酪青女発

栄えある内閣総理大臣賞に山下雅博さん（北海道）が輝く!!

10月21日㈬、農林水産省と日本農林漁業振興会は、第54回農林水産祭 天皇杯等三賞の受賞者を発表し、畜産部門では当会議から出品していた山下雅博さん（北海道会議）の経営が内閣総理大臣賞を受賞しました。

天皇杯等三賞とは、優れた農林漁業経営者の活動や業績を表彰するものであり、さまざまな農林水産関係の表彰の中で最高位に位置づけられている。今年度は農林水産大臣賞を受賞した491の個人・団体の中から選ばれた。7部門あり、それぞれに1.天皇杯、2.内閣総理大臣賞、3.日本農林漁業振興会会長賞が決定される。

山下さんは、11月23日（月・祝）に東京都渋谷区の明治神宮会館で開かれる農林水産祭の式典にて表彰されます。その表彰式の様子は次号に紹介いたします。

▲ 山下雅博さん（7月全国酪農発表大会において）

東京支所発

「ちくさんフードコレクション2015」開催

9月26日㈯～27日㈰の両日、茨城県水戸市の茨城県三の丸庁舎敷地内において「ちくさんフードコレクション2015」が開催されました。このイベントは、「来て・見て・知って・食べて・感じて」をテーマに、茨城県の畜産・酪農業への理解を深めてもらうため開催されたものです。会場では、牛乳・乳製品や畜産品の販売コーナーや、茨城県の名産である常陸牛の試食コーナーの他、搾乳体験、牛乳パック工作教室、骨密度測定コーナーなどが設けられました。両日共に天候には恵まれなかったものの、多くの来場者が訪れ、イベントは盛会裏に終了しました。

（G.H）

▲ 茨城県酪連
大槻代表理事会長

▲ 大賑わいの、搾乳体験コーナー

東京支所発

「かながわミルクフェスティバル2015」開催

10月3日㈯、神奈川県横浜市の日本丸メモリアルパークにおいて、かながわ酪農活性化委員会主催の「かながわミルクフェスティバル2015」が開催されました。

この催しは県内酪農業と乳牛の認知度向上を目的とし、酪農家をはじめ神奈川県の農業高校まで多くの団体が参加しました。

当日は晴天に恵まれ、高校生の迫力ある和太鼓演奏が町中に響き渡り、家族連れ・カップル・ご年配の方など非常に多くの方が来られ、大いに盛り上がっていました。

会場内には、成牛と仔牛に実際に触れ合える「乳牛ふれあいコーナー」や「模擬搾乳体験コーナー」、「骨密度測定コーナー」、「工場PRコーナー」、「ソムリエコーナー（牛乳飲み比べ）」、「牛乳パック工作コーナー」、「クイズラリー」等々多くのイベントブースが設けられ、どのブースも常に人で溢れるほどの大反響でありました。

▲ かながわ酪農活性化対策委員会会長 石井 重満氏

特に、「乳牛ふれあいコーナー」では子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで多くの方が集まっており、都会ではなかなか見る機会のない大きな牛と小さな可愛い仔牛を、子ども達が目を輝かせながら見て・触っているのが印象的でした。会場の皆さまが常に笑顔であり、牛のもつふんわりとした不思議なパワーに魅せられていました。

当日の来場数は約9,000人と、都市近郊型である神奈川県の強みを感じるほかない数字となりました。この催しが来年、再来年と継続して開催され、酪農業界を大いに盛り上げていけることを強く願うとともに、都市近郊型酪農の強みを大いに感じるイベントとなりました。

（N.Y）

▲ 乳牛ふれあいコーナーではみんな興味津々

▲ ソムリエコーナー

▲ 高校生による和太鼓演奏

福島県の戸数、頭数、生産量（アウトサイダー除く）

項　目	平成22.2.1		平成23.2.1		平成24.2.1		平成25.2.1		平成26.2.1	
	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比	実数	前年比
飼養戸数(戸)	542	96%	525	97%	442	84%	414	94%	391	94%
飼養頭数(頭)	16,693	97%	16,089	96%	13,688	85%	13,245	97%	12,865	97%
平均頭数(頭／戸)	30.8	101%	30.6	100%	31.0	101%	32.0	103%	32.9	103%
生乳生産量(t)	87,374	91%	70,963	81%	77,091	109%	76,031	99%	70,683	93%

※東日本大震災（H23.3.11）

くことに躊躇もあったが、復興の中心となる使命感をもってそれぞれ決意を固めた。酪農人生の集大成として取り組む。成功させて福島の酪農家に元気を与えたい」と話されていました。また宗像組合長が挨拶された通り、まさに「福島酪農の思いを背負っているばかりでなく、労働環境改善なども含めた新たな都府県酪農のモデルケース」となることが期待されています。

本会としても従前より、大規模先進酪農視察、法人経営や大規模経営のノウハウの研修の実施など、福島県酪協と協力して取り進めてきました。今後は実際に始まる初妊牛の導入や飼養管理、経営管理など実際の牧場経営に対しての協力をしていきます。

復興牧場の入り口に立つ記念碑には「衆知復興」の４文字が刻まれています。今後とも皆の知恵を集め、福島酪農の復興の先駆けとなるよう決意が込められています。記念式典には、地元選出の国会議員や県などの行政、本会をはじめとする酪農関係者が多数出席し、新たな門出を祝福していました。

（S.H）

▲ 田中社長（中央）と取締役のみなさん

た。長旅に多少疲れが見えたホルスタインたちも、真新しい牛舎に入ると落ち着きを取り戻していました。これからいよいよ搾乳が始まり、導入も本格化します。皆さんに幸せ（フェリス）をお届けする牛乳（ラテ）が出荷できる日も現実味を帯びてきました。

（S.H）

▲ 活躍が期待されます！

仙台支所発

完成!! 福島県酪協「復興牧場・㈱フェリスラテ」

東京電力福島第一原発事故により離農を余儀なくされた酪農家のうち、５名が共同で経営する「復興牧場」がこの度完成し、見学会と落成式が去る９月25日㈮に開催されました。同牧場は福島市の中心部から西に10㎞程度離れた場所に農地などを活用して建設され、3.6haの土地には160頭規模のフリーバーン牛舎３棟、乾乳牛舎、20頭ダブルのパーラー、哺乳ロボット舎、そして脱臭システムを併設した堆肥舎、堆肥乾燥舎を備え、本年度中に500頭の初妊牛を導入し、最終的には580頭で年間5,000tの生乳生産を目指すこととなっています。総事業費は約15億円で、うち国と県が11億円を補助しており、福島県酪農協（宗像実代表理事組合長）が建設し、南相馬市、浪江町、飯館村でそれぞれ酪農を営んでいた酪農家５名が設立した農業生産法人「㈱フェリスラテ」が運営していくことになります。

▲ 福島県酪宗像組合長

平成23年３月11日発生の東日本大震災と原子力発電所事故は、放射性物質の拡散という事態を招き、福島県下全域の生乳が出荷停止となり、51日間、生乳の廃棄が続きました。その日以降福島県の酪農は縮小傾向をたどり、平成27年２月現在で酪農家戸数は350戸、生乳生産量は７万tと震災前のそれぞれ60%、80%まで減少しています。

▲ 新牛舎

もともと福島県は家族経営型の酪農家が多く、震災前に福島県酪農協が策定した酪農ビジョンも家族経営を規模別に分け10年後の将来像を描いていました。今回の大規模共同経営という挑戦に対し、㈱フェリスラテの田中一正社長は、「震災前はそれぞれ酪農経営を営んでいた５人が500頭規模の共同経営をやってい

仙台支所発

復興牧場に初めての牛が導入される！
― ㈱フェリスラテ（福島県福島市）―

去る10月２日㈮、初妊牛60頭が、福島県の復興牧場である㈱フェリスラテ（田中一正代表取締役社長）に初めて搬入されました。９月上旬に田中社長が自ら北海道に渡り、十勝・帯広等より買い付けを実施してきました。導入日前日は何と爆弾低気圧に見舞われ、北日本航路は大荒れとなり輸送が心配されましたが、函館経由で無事本州に渡り、当日の導入となりまし

▲ 待望の60頭が到着

農業協同組合法の改正について

平成27年9月4日、農業協同組合法（以下「法」という。）等の一部を改正する等の法律が公布され、9月下旬に農林水産省によるブロック説明会が開催されました。そこでの説明内容も踏まえ、説明会の資料を基に、法改正の農業協同組合に関する部分の概要をお知らせします。
なお、☆の部分は、現行法からの変更点等の説明です。

○農業協同組合法の改正の内容

1. 組合事業運営原則の明確化（第7条関係）

☆現行法第8条では、組合は営利を目的としてその事業を行ってはならない、としているが、その部分が削除となり、現行法の⑴に加え、農業所得の増大と組合の収益性に言及した⑵と⑶が加わる。

⑴　農業協同組合及び農業協同組合連合会（以下「組合」という。）は、その行う事業によってその組合員及び会員のために最大の奉仕をすることを目的とする。

⑵　組合は、その事業を行うに当たっては、農業所得の増大に最大限の配慮をしなければならない。

⑶　組合は、農畜産物の販売その他の事業において、事業の的確な遂行により高い収益性を実現し、事業から生じた収益をもって、経営の健全性を確保しつつ事業の成長発展を図るための投資又は事業利用分量配当に充てるよう努めなければならない。

2. 組合員の自主的組織としての組合の運営の確保

☆組合の事業についての条文に、利用の強制を禁止する⑴が加わる。

⑴　組合は、その事業を行うに当たっては、組合員に対し、その利用を強制してはならない。

⑵　専属利用契約（組合員が当該組合の施設を専ら利用すべき旨の契約）に関する規定を廃止する。

⑶　事業利用分量配当の全部又は一部を組合員に出資させる回転出資金を廃止する。（この法律の施行の際、現に存在する回転出資金は、これまでどおりとする。）

⑷　組合の設立、定款変更等に関する行政庁の認可基準等を緩和する。（農業協同組合相互の地区の重複により農業の振興を図る上で支障があるとき等を不認可事由から削除する、農業協同組合連合会相互の地区・事業を重複させる定款変更の場合の会員組合の総会における投票議決義務を削除する等。）

3. 理事等の構成

☆組合の理事及び監事を規定する条文に、⑴と⑵の2項が加わる。

⑴　農業協同組合（経営管理委員を置くものを除く）の理事の定数の過半数は、原則として、認定農業者又は農畜産物の販売その他の事業若しくは法人の経営に関し実践的な能力を有する者でなければならない。

ただし、地区内の認定農業者が少ない場合その他農林水産省令で定める場合は、この限りでない。（なお、経営管理委員を置く農業協同組合にあっては、経営管理委員の過半数は、認定農業者でなければならないものとし、理事は、農畜産物の販売・法人の

経営等に関し実践的な能力を有する者でなければならないものとする。）

(2) 農業協同組合は、理事（経営管理員を置く農業協同組合は経営管理員）の年齢及び性別に著しい偏りが生じないように配慮しなければならない。

(3) この法律の施行の際現に存する農業協同組合の理事等については、この法律の施行後3年を経過した日以後最初に招集される通常総会の終了の時までは適用しない旨の経過措置を設ける。

4. 組合の組織変更等

☆第4章を変更し、株式会社等、以下の組織変更ができるようにする。

(1) 組合は、その事業（信用事業又は共済事業を除く）に関して有する権利義務を、分割によって設立する組合に承継させることができる。

(2) 組合（信用事業又は共済事業を行うものを除く）は、その組織を変更し、株式会社になることができる。

(3) 組合は、その組織を変更し、一般社団法人になることができる。

(4) 農業協同組合（信用事業又は共済事業を行う者を除く）は、その組織を変更し、消費生活協同組合になることができる。

(5) 病院等を開設する組合は、その組織を変更し、医療法人になることができる。

5. 中央会制度の廃止

☆現行法の農業協同組合中央会（以下、中央会。）に関する条文は削除され、附則において、以下のような経過措置が規定される。

(1) 中央会制度を廃止し、この法律の施行後、3年6月の間に、都道府県中央会は農協連合会に、全国中央会は一般社団法人に、それぞれ移行することができる。また、それぞれ農協連合会及び一般社団法人へ移行後も、中央会の名称を使うことができる。

(2) この法律の施行の際現に存する中央会は、この法律の施行日以後も、なお存続するものとする。

6. 信用事業を行う農業協同組合等の会計監査人の設置

☆現行法の全国中央会の監査を受けなければならなかった規定がなくなり、以下のようになる。

(1) 一定規模以上の信用事業を行う農業協同組合等は、公認会計士又は監査法人による会計検査を受けなければならないものとし、新制度への移行に当たって、政府は適切な配慮を行う。

7. 理事の自己契約等に係る手続の整備等

☆現行法では理事会の承認を受けた場合、としていた条文に開示義務が加わる。また、理事の対象についての条文が削除される。

(1) 理事等が組合との取引等をしようとするときは、理事会等において当該取引についての重要な事実の開示等を義務付ける。

(2) 組合の行う事業と実質的に競争関係にある事業を営む者等が当該組合の理事等になってはならないものとする規定を廃止する等の措置を講ずる。

○徹底した議論を前提

☆附則第51条には、組合の事業及び組織の在り方についての当該組合の構成員と役職員との徹底した議論を促すことにより、関係者の意識

の啓発を図り、農協の趣旨に沿った自主的な取組を促進する、とあり、徹底した話し合いを前提としている。

☆また、同条には、准組合員の組合事業の利用に関する規制の在り方は、正組合員及び准組合員の組合の事業利用の状況並びに改革の実施状況についての調査を行い、検討を加えて、結論を得るものとする、とあり、准組合員の組合利用規制に関しては、現時点では白紙の状態となっている。

○理事構成に係る省令の制定

☆衆参両農林水産委員会において、以下のような内容の付帯決議がされている。

(1) 農協改革の目的である農業所得の増大のための農産物の有利販売・生産資材の有利調達が確実に達成されるよう、自主的な取組を促進。

(2) 理事構成に係る省令の制定に当たっては、関係者の意向や地域の実情を踏まえた適切なものになるよう配慮。

(3) 准組合員利用の在り方については、農協の地域のための重要なインフラとして役割を踏まえる。

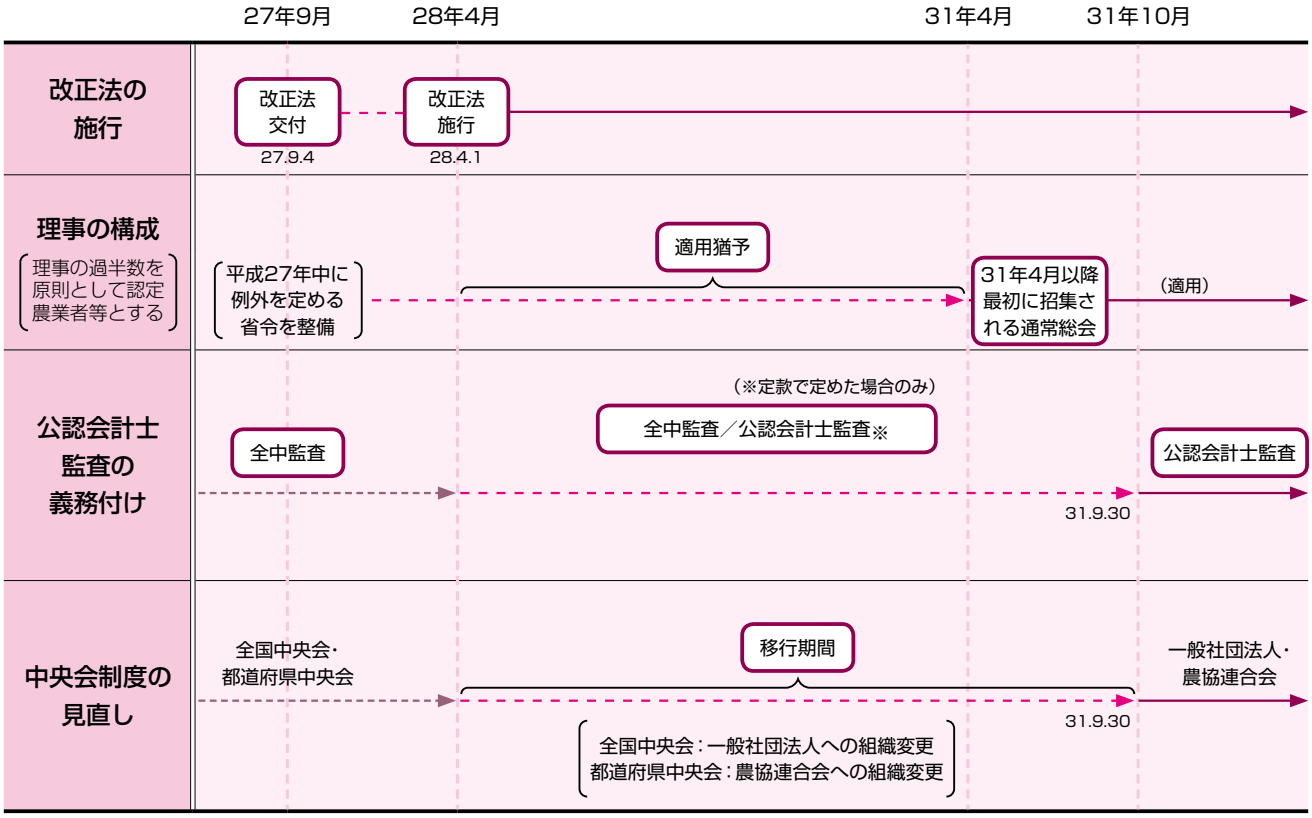
(4) 農協、信連、及び農林中金は農業融資に積極的に取り組む。

(5) 農協改革に伴い、税制に関して万全の措置を講ずる。

☆付帯決議も踏まえ、組合の理事構成等の詳細については、今後、省令等で整備される予定であり、年内にも明らかになると思われる。

なお、農協法改正については、会員職員研修会（11月27日東京会場、12月3日福岡会場）において、農林水産省担当官から説明していただく予定です。どうぞご参加ください。

改正農協法に係る今後のスケジュール



※ブロック説明会資料（1）より

酪政連活動報告

平成27年7月～9月

日本酪農政治連盟

7/15

三役会議を開催
（於：衆議院第一議員会館）

◆ TPP閣僚会合、日本酪農危機突破・総決起大会について協議

7/23

国際交渉から国内畜産業を守り抜く緊急代表者集会（日本の畜産ネットワーク）に参加

◆ 佐々木委員長以下35名参加

7/27～8/1

米国ハワイ・マウイ島にて開催されたTPP閣僚会合に併せ、日本の畜産ネットワーク代表団の一員として、佐藤副委員長、井上副委員長、齋藤幹事長代理を派遣

8/11

三役会議を開催
（於：衆議院第一議員会館）

◆ TPP対策、今後の酪政連活動、セーフティネットについて協議

8/31

三役会議を開催
（於：酪農会館　特別会議室）

◆ 今後の酪政連活動について協議

9/17

三役会議を開催（於：四川飯店）

◆ 今後の酪政連活動について協議

9/29～10/5

米国 アトランタで開催されたTPP閣僚会合に併せ、日本の畜産ネットワーク代表団の1員として、佐藤副委員長、山下副委員長、坂本事務局長を派遣
この会合により、2010年より開催された交渉（日本は2013年より参加）は大筋合意に達した

7/31

自由民主会館にて、日本酪農危機突破・総決起大会を開催

◆ 日本酪農の窮状を国会議員等に訴え、日比谷公園までデモ行進を実施
◆ 全国の酪農民約1,000名が参加

▲ デモ行進の様子

▲ 全国の酪農民1,000名が集結！

組合が取り組む 婚活支援事業

第2回 酪農とちぎ presents RADIO BERRY カップリングパーティーが開催される

酪農とちぎ農業協同組合（坂主 正代表理事組合長）は、組合が取り組む婚活支援事業の一環として、平成27年9月27日（日）、エフエム栃木（RADIO BERRY）イベントスペース1階にて第2回カップリングパーティーを盛大に開催いたしました。

男性参加者は事前に女性に対する接し方やトーク・服装などのレクチャーを受け、パーティに臨みました。その甲斐があり、ファーストトークタイムでは短い時間の中で自分をアピールしながら積極的にアプローチをかけることができ、会場は終始楽しい会話と笑顔で溢れていました。

この後、グループに分かれての「DJ体験」や「バター作り体験」を通し、懇親を深めました。

■ DJ体験

アナウンサー、天気予報士、DJ、ディレクター、音響係に担当を分け、ラジオ番組本番さながらの疑似体験を行いました。普段では味わう事のできない体験をする事ができ、参加者同士の距離が縮まりました。

本番さながらのDJ体験

■ フリートーク&バター作り体験

スィーツを食べながらのフリートークでは、第一印象で気の合った同士のテーブルでは楽しそうな会話が弾んでいました。また、和気あいあいとコミュニケーションを図るグループのテーブルや、中には積極的に女性から男性に声を掛けるシーンも見受けられました。

バター作り体験ではグループ対抗でその出来栄えを競いました。出来上がったものを並べ顔も突合せての品評会では、「どのバターが一番うまく作れたか」でさらに話が弾み、女性陣は手作りバター初体験の方も多く、この企画も大成功となりました。

当日の結果はというと、第一印象からずっと心に決めていた同士の方や、途中集計時「気になる人」に該当していなかったが、自分の想いを最後まで貫き通しみごとカップルになるなど、めでたく４組のカップルが誕生しました。末永くお幸せに♡♡

バター作り体験

正則さん（左）、啓介さん（中央）、本会帯広事務所木村職員（右）▲

日本酪農

見て歩紀

No.270

渋谷正則牧場

上川郡十勝清水町

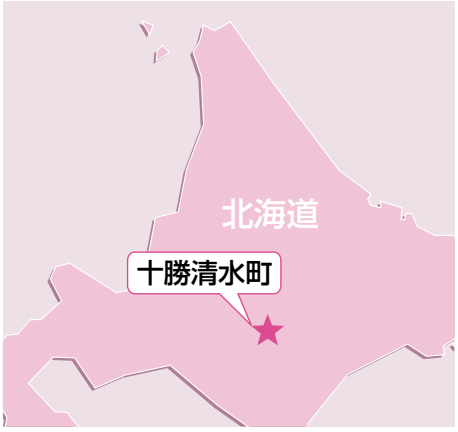
開拓の歴史とともに、100歳の牛舎

地域について

今回紹介する渋谷牧場は、帯広市から車で約40分、十勝管内の西部に位置する上川郡十勝清水町にあります。日高山脈の山並みと十勝平野を流れる十勝川に挟まれ、北海道ならでは景色が楽しめる同町は、日勝峠の東側に位置することから交通の便もよく、道東の玄関口とも言われています。内陸性気候がもたらす高い晴天率と、大きな寒暖差の恵まれた環境によって、様々な作物において高い収穫量を誇るとともに、十勝平野の栄養豊富な牧草を食べて育った乳牛から生産される牛乳は、美味しさとともに乳量も十勝トップクラスです。

渋谷牧場の所属する十勝清水町農業協同組合（串田雅樹代表理事組合長）は、酪農家戸数127戸、出荷乳量は11・3万t（いずれも平成26年度末時点）となっています。

▶牧場看板と並ぶ、十勝開墾合資会社の説明



牧場の概要

渋谷牧場は現経営主の正則さん（54）、奥様のさゆりさん（49）、お父様の一郎さん（83）、お母様の数子さん（81）、長女の加奈子さん（24）、次女のみのりさん（21）、長男の啓介さん（23）の7人家族です。啓介さんは3年前に本別町の北海道農業大学校を卒業後、カナダで1年間実習の後昨年6月にご実家にて就農されました。現在は正則さんとさゆりさん、啓介さんの3人で、すべての

作業をご家族で協力して行っています。現在の飼養頭数は１００頭で、うち搾乳牛は50頭。平成26年の出荷乳量は３８０ｔとなっています。耕作地は牧草地20ha、デントコーン９ha、他に販売作物の小麦畑を６ha所有しています。

牛に負担をかけず質のいい牛乳を

牛舎は50頭規模のつなぎ牛舎で、そのほかに30頭規模の育成舎があります。敷料には自家産小麦の麦わらに加え、近隣の小麦農家で生産された麦わらを堆肥と交換して使用しています。

飼料は、豊富な自給飼料を活かした給与を行っています。牧草はチモシー主体で、１番草はきざみサイレージと乾草に、２番草はすべてロールパックにしています。乳酸菌を添加し調整された良質なサイレージに加え、乾草と本会配合ヒーロー18をＴＭＲでミキシングし、１日２回給与しています。

飼養管理において一番気を使っていることは、疾病を出さないことです。１頭からの乳量は牛に負担にならない程度で良い、その分乳質の良い牛乳を、というのが正則さんの考えです。定期的に削蹄を行うほか、粗飼料を主体とした牛体に無理のない飼養管理によって、その考えのとおり渋谷牧場の乳房炎発生率は低く、生乳の体細胞数は組合平均を大きく下回っています。また平均産次数も３産以上のことが多いですが　慢性的に体細胞の高い牛は低産次であっても廃用に出し、乳房炎の発生に気を付けています。

乳質とともにこだわっているのが繁殖管理です。ボード版での管理とともに獣医師の定期検診を受け、個人の授精師に種付けを依頼しています。その体制がうまくまわり、現在平均分娩間隔13ヶ月、種付回数１・９回、空胎日数１１７日と成績も良好です。分娩は月３～４頭となるよう調整しますが、時には月５～６頭と分娩が重なり育成舎がいっぱいになるこ

▶当時のままの牛舎内部。右側は馬用の独房になっている

▲ 手前はデントコーン、奥は牧草のサイロ

▲ 圃場管理・ＴＭＲ作業はすべて自己管理で行う

ともあります。

疾病を出さず、繁殖成績をあげるためには、日々牛をよく観察することは欠かせません。牧草や分娩の忙しい時期でも、家族で協力して牛の体調に気を使っています。

歴史ある牛舎の話

渋谷牧場の牛舎は大正8年に建設され、間もなく100歳を迎えます。牛舎の歴史はこの地域の開拓の歴史でもあります。明治から大正にかけて第一国立銀行やサッポロビールなど500以上もの企業設立・経営に携わった実業家、渋沢栄一氏が十勝地域の開墾を目的とした十勝開墾合資会社を設立し、開拓牛馬のつなぎ施設として建設したのが今の渋谷牧場です。この十勝開墾合資会社熊牛農場に26戸99人が入植したことから十勝清水町の歴史が始まりました。正則さんのお祖父様にあたる竹治さんは同会社の従業員として働いており、昭和10年、同会社の解散の翌年に竹治さんが開拓の跡地である農場と一部の牛馬を引き継いだことが渋谷牧場の始まりとなっています。まさに町の歴史とともにある牛舎を見ながら「渋沢氏がいなければ、この地区は開けなかった」と正則さんは語ってくれました。

歴史を感じる木造の牛舎は、当時、北海道最初の畜産経営の実践農場と言われる北大（当時札幌農学校）第2農場をもとに設計されたそうです。また、内部も当時のままで、後から生乳処理室や尿溝の設置等、搾乳牛舎施設へ改装しながら現在まで大切に使われてきました。

▲ 間もなく築100年を迎える牛舎

今後の展望

昨年6月、啓介さんが就農されました。「忙しさも仕事内容も、以前と全然変わらないよ～」と笑う正則さんですが、後継者へと引き継ぐその日のことを考え始めています。十勝清水の地を開拓の当初から見守ってきた渋谷牧場の牛舎ですが、構造上、経年上、日々の牛舎作業では肉体的な負担が大きいのが事実です。正則さんは、自分の代までは今の牛舎を大切に使いたい。ただ今後次世代のことを考えると、次のステップを踏み出すべきか悩んでいるところ、と言います。昨年から始まった畜産クラスター事業、現状では実施要綱と希望する牛舎の改築や施設の更新が合致せず参加していませんが、いずれは事業を利用してロボット搾乳のできるフリーストール牛舎を建設したいと考えています。清水地区は畑作農家も多く土地が余っていないため大規模な増頭はできませんが、将来的にはロボット1台で対応できる60頭前後まで増頭し、省力化してできた時間を圃場や繁殖管理にまわしていきたいと語ってくださいました。啓介さんも、後の機械化を見据えて、ロボット搾乳に合うような牛群の改良を進めたいと考えており、共進会への出品など将来に向けて勉強されています。

おわりに

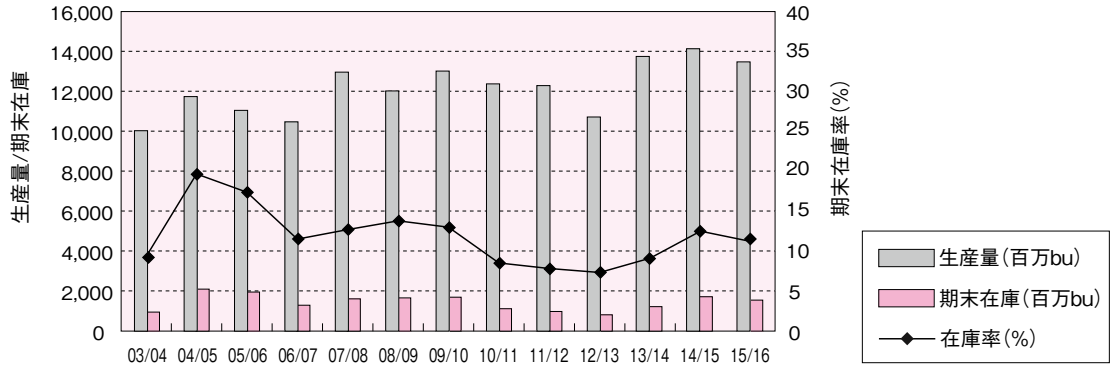
渋谷牧場の牛舎の看板には「十勝開墾合資会社」の説明があり、渋沢栄一氏をはじめ十勝の開拓の歴史を思いがけず牧場から学ばせていただくことができました。取材時、正則さんは「うちのことはいいから、牛舎の歴史を書いておいてよ！」と笑っておっしゃいましたが、お祖父様より代々受け継ぎ、守り続けてきた牛舎に歴史の重みを感じました。

今後、正則さんから啓介さんへ経営のバトンが渡され、牛舎や設備は更新されていくと思いますが、十勝清水の始まりの地である渋谷牧場が、末永く繁栄・発展していくことをお祈り申し上げます。この度の取材へのご協力、誠にありがとうございました。

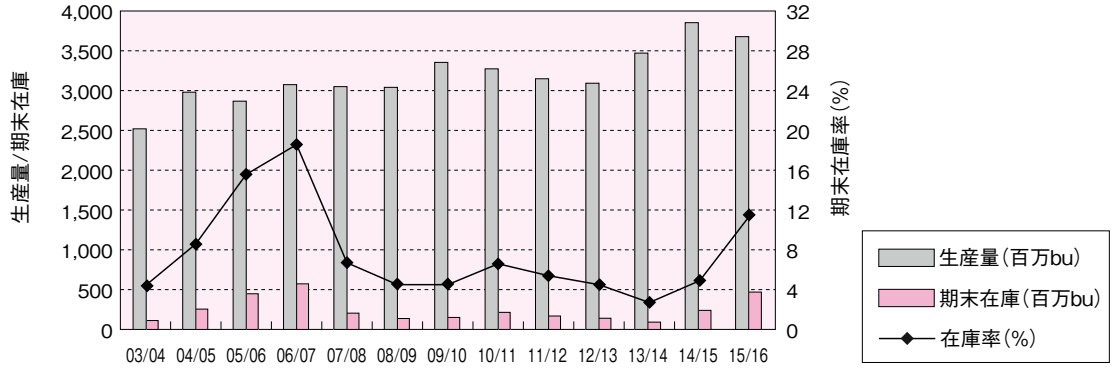
原料情勢 平成27年10月

10月9日発表 米国農務省 トウモロコシ 需給予想	【14/15年産】 作付面積90.6百万エーカー、単収171.0bu/エーカー、生産量142億1,600万bu、総需要量137億4,800万bu、期末在庫17億3,100万bu、在庫率12.6% 需給両面で増加し、期末在庫は減少。
	【15/16年産】 作付面積88.4百万エーカー、単収168.0bu/エーカー、生産量135億5,500万bu、総需要量137億5,500万bu、期末在庫15億6,100万bu、在庫率11.4% 供給面が減少し、期末在庫は減少。
トウモロコシ 相場動向	9月の発表以降、生産量の減少から値を上げたが、生産地で天候に恵まれた事、農家売りが出てきたこともあり、発表前の水準まで下落した。9月30日には米国農務省から四半期在庫が発表されたが、市場に大きな影響はなかった。発表前日は391-1/4¢(12月限)で取引を終えている。今後のシカゴ相場は、比較的乾燥した天候から収穫も順調に進み、米国農家の売りも出始め、軟調に推移していくと思われる。
10月9日発表 米国農務省 大豆需給予想	【15/16年産】 供給面の単収で小幅に増加したものの、収穫面積が下方修正され、生産量は前月より減少した。需要面では輸出減少を主要因に下方修正された。発表内容は市場の事前予想を上回わる数字となったが、取引は発表直後に買い一色となり、前日比4-1/2¢高の885-3/4¢(11月限) で当日の取引を終えている。期末在庫4億2,500万bu、在庫率11.5%
大豆粕相場動向	国内産大豆粕相場は、菜種対比で搾油採算が良好なことから大豆搾油は前年対比約110%で推移、大豆粕発生量は増加傾向にある。しかし需要も堅調なことから、相場は前期後半と比較して若干強含む展開となっている。輸入品については主要輸入先の中国で豚肉需要が回帰していること、搾油原料の産地が南米から価格の高い米国にシフトする時期であることから、こちらも相場は強含むものと思われる。
糟糠類	【一般フスマ】10-12月期の配合原料用価格改定は据置となった。7-9月の挽砕量は低調に推移する見込みであったが、前年を上回る数字となり、需給はバランスが取れた状況となっている。12月の粉価(小麦粉) 改定は値下げの見通しとなっているために買い控えが予想され、フスマの発生量は減少するものと思われる。改定内容の影響も含め、今後は需給のひっ迫が予想され、受け渡しにも注意が必要となる。
海上運賃	海上運賃は引続き安値圏、横這いで推移しているものの、市場では底打ち感も出てきている。例年、10月以降は中国向けの鉄鉱石・石炭の荷動きが活発化してくることから、この先海上運賃上昇の圧力がかかりやすい状況となっている。市場では、中国の大型連休である「国慶節」が終わり、新規引き合いが注入してくる見方が強い。

米国産トウモロコシ生産量と期末在庫の推移



米国産大豆生産量と期末在庫の推移



輸入粗飼料の情勢 平成27年10月

北米コンテナ船フレート	アジアから北米に向けた貨物量は非常に好調で前年比5%以上の増加となっている。一方、北米からアジアへの貨物はドル高や中国の景気減退などの影響を受け伸び悩み、10月からの海上運賃一括値上げ（GRI）の通知が出ていたが、北米向けと北米出しの貨物量に大きな開きがあるため、ほとんどの船会社が10月からの値上げを見送るとしている。労使交渉以降、港湾での作業スケジュールの遅れが長らく続いていたオークランド港は、9月半ば頃に混雑が解消したとの発表があり、貨物量がピークを迎える11月を前に平常時の環境に戻る目途がついたとされる。
ビートパルプ	【米国産】日本向けの主産地（ミネソタ州・ノースダコタ州）では例年より早い8月20日頃から収穫が始まっており、順調に進捗している。現時点では例年通りの生産量及び作柄になると予想される。
	【ヨーロッパ産】砂糖相場低迷により強い減産圧力がかかっており、今年は作付面積が減少している。春先は降雨により作付が遅れており、夏場は熱波の影響を受け作柄は良好とは言えない模様で、ＥＵ加盟国の生産量は前年度比20%以上の減産と予想される。価格についても強含みで推移している。
アルファルファ	【ワシントン州】3番刈までは例年より早い収穫ペースで進捗しており、8月下旬までは気温が高いまま推移してきたため、やや乾燥気味の品質が多く発生している。その後、4番刈収穫期に入り最高気温が20℃程度まで冷え込むようになり、2-3番刈に比べ葉付きが良い品質に仕上がっている。
	【オレゴン産】3番刈の収穫が終了しており、基本的には天候にも比較的恵まれ、成分が高いものが多く発生している。価格は高品質のアルファルファを求める米国内酪農家からの引き合いが強まっており、強含みで推移している。今年はワシントン州1番刈の不作を受けて、高成分を求める中国需要に応えるべくワシントン州のサプライヤーがオレゴン州に積極的に買い付けに入っており、他産地に比べ価格が強含みに推移している要因となっている。
	【ネバダ州、ユタ州】既に3番刈が終了し、4番刈も終盤を迎えている。3-4番刈は目立った降雨被害は無く、気温も順調に推移してきたため良品が多く収穫されており、見た目もきれいな緑色に仕上がっている。他産地と同様に中国からの引き合いが強く、価格は強含みで推移している。
	【カリフォルニア産】南部エルセントロでは現在6番刈りが終了している。9月下旬でも最高気温35℃を超えており、輸出不適格品の生産が多くなっている。北部では4番刈まで進んでいるが、干ばつの影響による山火事が頻発しており、地域によってはウインドロー（刈取り後の圃場での乾燥）時の日光の当たり方や乾燥に要する時間によって斑が入り、見た目が不安定なものが発生している。
チモシー	【米国産】9月中旬に2番刈が終了している。新穀の価格下落により他作物への転作が見られ、2番刈の生産量は減少している。収穫期は気温が高く推移していたため雑草混入も散見されており、上級品の発生は限られた数量となった。このため、価格は強含みで推移している。
	【カナダ産】南部レスブリッジでは9月中旬から2番刈が始まっている。今のところ降雨被害はないものの、9月の気温は20℃前後の日もあれば、40℃近くなる日もあるなど不安定な天候で推移し、2番刈の生産量・品質についてはやや不安要素が多い状況となっている。中部クレモナエリアの収穫は9月中旬に終了している。収量は地域によって差はあるものの、干ばつの影響で例年に比べ20%以上の減少と見られており、やや細めの茎のものが目立つ。
スーダングラス	インペリアルバレー（エルセントロ）での収穫はほぼ終了している。産地では日照時間が短く湿度も高くなってきており、収穫期終盤に生産されたものは低級品が多くなっている。一方、北カリフォルニアでの収穫は、8月中旬から徐々に始まり、終盤を迎えつつある。天候も概ね順調で作柄は良品が多く生産されている模様であるが、エルセントロ地区での上級品発生不足の需要を北カリフォルニア産でカバーする動きが見られ、引き合いが強まっている。
クレイングラス	【クレインは全酪連の登録商標です】 現在5番刈が進行中で、気温や湿度も変化が多い時期に入ってきている。今年の作柄・品質は不安定な天候の影響のため、刈取番手、刈取時期、圃場ごとにバラつきが大きい傾向となっている。
ストロー類	収穫は8月下旬に概ね終了しており、今年は天候に恵まれ良品が多く収穫できた模様。しかし、生育時期に雨が少なかったことから単収が少なく、短軸傾向なものが多くなっている。一部繰り越し在庫もあり、現状では日本・韓国向けの輸出の荷動きは静かなため、価格は一時的に軟化傾向で進んでいる。
オーツヘイ	【西豪州】15年産オーツの作付面積は昨年比30%増加しており、背景にはオーツグレイン（燕麦）の価格急騰があり、ヘイとしての生産量は20%程度減少する見込みである。オーツグレインは東南アジアへの輸出需要の高まりを受け、相場はこの1年間で約$100/MT上昇している。9月中旬から開始された収穫作業は、天候に恵まれ一気に刈取りが本格化しており、10月初旬の段階で早くも終盤を迎えている。このまま好天が続けば、大半が高品質で仕上がると予想される。
	【南豪州】作付面積は昨年比10%減となっているが、生育中も降雨があり気温も例年並みで推移していたため生育条件は悪くなく、例年並みの生産量が期待される。収穫は9月中旬から開始され、晴天が続き10月に入っても天候が安定しているため、さらに本格化している。今のところ大きな降雨被害もなく、高品質なものが多く発生する環境となっている。
	【東豪州】作付面積は昨年並み。ビクトリア州では8月から少雨が続いており、単収は例年以下になると予想される。刈取りは9月下旬に入り北部から開始され、徐々に南下していき、11月上旬には全ての地域で刈取りが終了する見込みである。このまま晴天の中で収穫が行われれば、西・南豪州と同様に高品質のオーツヘイが大半を占めると予想される。

生乳受託販売乳量

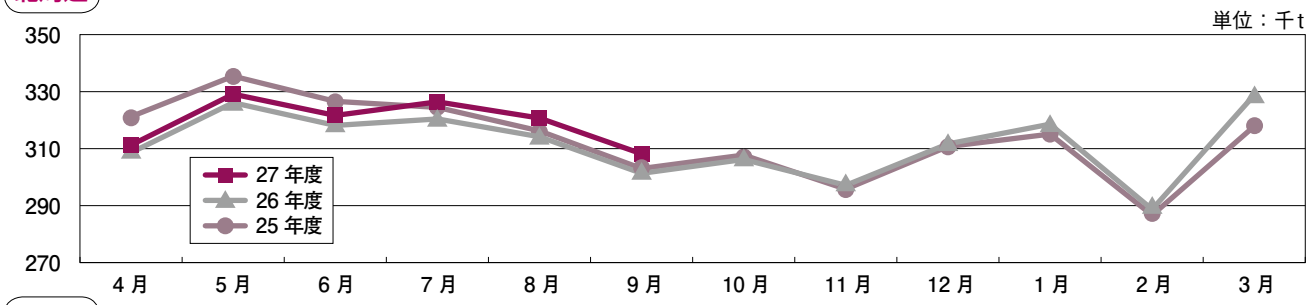
受託販売乳量

全国　569,176t で、前年同月比　7,249t(1.3%) 増加

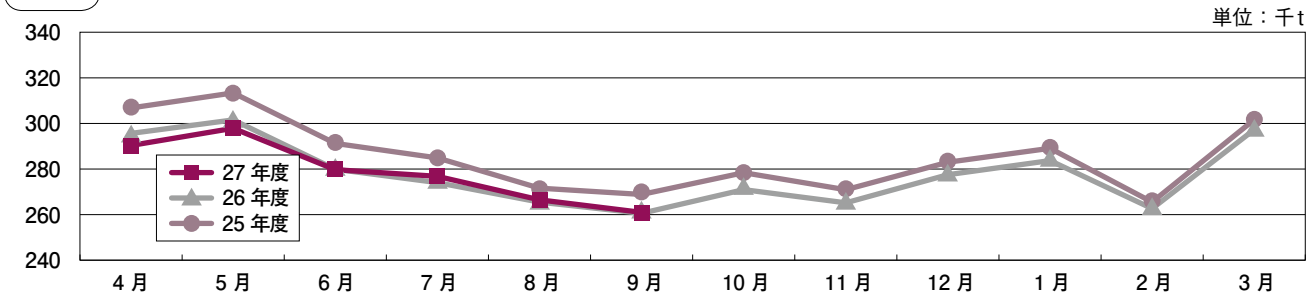
都府県 260,986t で、前年同月比　398t(0.2%) 増加

北海道 308,191t で、前年同月比　6,850t(2.3%) 増加

北海道



都府県



用途別販売数量

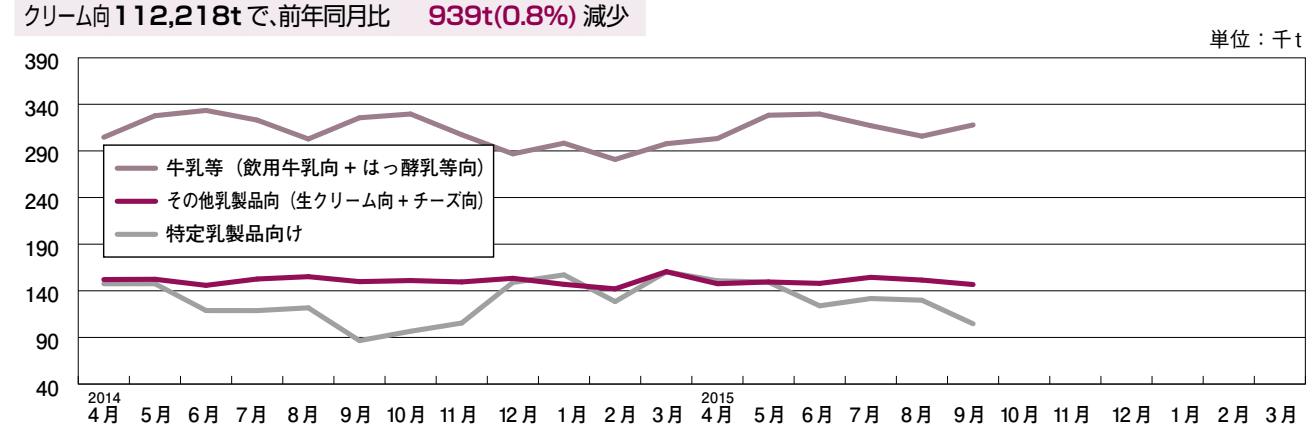
飲用向　280,753t で、前年同月比 9,344t(3.2%) 減少

チーズ向　34,505t で、前年同月比　2,163t(5.9%) 減少

はっ酵乳向　37,051t で、前年同月比　1,618t(4.6%) 増加

特定乳製品向 104,648t で、前年同月比 18,076t(20.9%) 増加

クリーム向 112,218t で、前年同月比　939t(0.8%) 減少



各地の需給動向

【東北】9 月生乳生産は 100.2%。上･中旬は天候悪く域内乳業者の処理が不調であったが、下旬に入り回復した。飲用向けは 99.0%、はっ酵乳向けは 109.5%、特定乳製品向けは 96.5%となった。

【関東】生産量は 100.9%と全体的には好調に見えるが、中旬より横ばいの日量推移となっている。飲用牛乳向け処理量は昨年不調の反動もあり前年比 101.0%。特定乳製品向けは 111.0%となった。

【東海】生産は前年比 97.8%。前月は冷涼な気候で回復堅調であったが、9 月は横ばいの推移となっている。処理は天候不順で伸び悩んでおり、飲用牛乳向けは 96.6%、特定乳製品向けは 125.6%となった。

【近畿・中国・四国】生産は近畿 101.2%、中国 100.0%、四国 96.6%。月内安定的に推移した。処理も月間通して落ち着いており、飲用牛乳向けは近畿 101.3%、中国 99.6%、四国 96.1%となった。

【九州】生産は前年比 101.0%。処理は月内通してメーカーの計画並み～若干下振れしていた感度。結果的には飲用牛乳向けは 97.8%、特定乳製品向けは 110.1%となった。

用途別生乳処理量

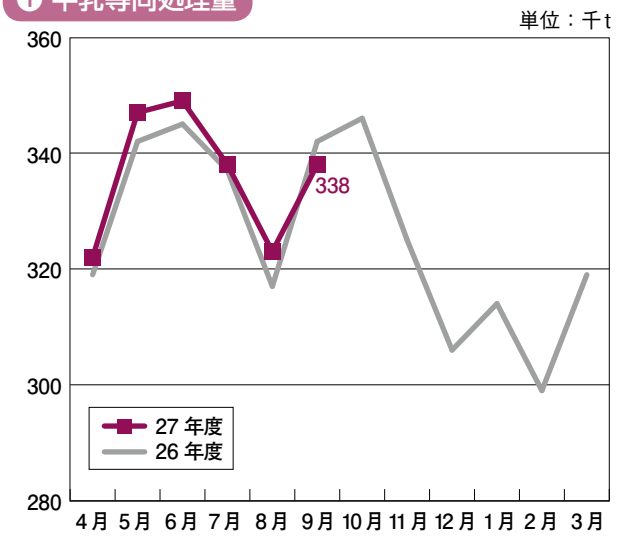
単位：千t

年月	生乳生産量	用途別処理量計		乳製品向		その他乳製品向		
			牛乳等向①		特定乳製品向②		クリーム向③	チーズ向④
2014. 4月	627	622	319	303	148	155	112	43
5月	650	645	342	303	148	155	112	44
6月	619	614	345	269	120	149	108	41
7月	618	613	337	276	120	156	113	43
8月	600	595	317	278	126	153	111	42
9月	583	578	342	236	88	148	109	39
10月	598	593	346	247	100	148	112	36
11月	584	579	325	254	107	147	112	35
12月	613	608	306	302	151	152	111	40
2015. 1月	624	619	314	304	158	146	105	41
2月	573	568	299	269	128	142	101	40
3月	642	637	319	319	159	160	117	43
年度計	7,331	7,271	3,910	3,361	1,552	1,810	1,324	486

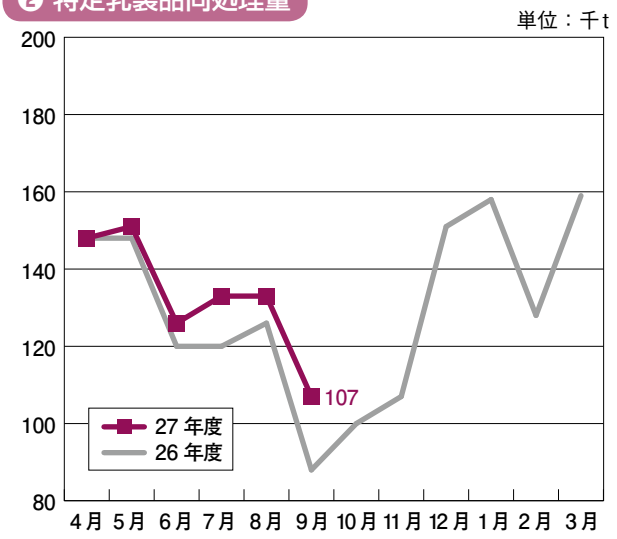
年月	生乳生産量	用途別処理量計		乳製品向		その他乳製品向		
			牛乳等向①		特定乳製品向②		クリーム向③	チーズ向④
2015. 4月	625	620	322	298	148	150	114	37
5月	649	644	347	297	151	146	109	37
6月	625	620	349	271	126	145	107	38
7月	629	624	338	286	133	153	110	43
8月	608	604	323	281	133	148	107	41
9月	593	588	338	250	107	143	107	36
10月								
11月								
12月								
2016. 1月								
2月								
3月								
年度計	3,729	3,701	2,018	1,683	797	886	654	232

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」
単位：千t未満を四捨五入した数値を標記しているため、各項目の合計と表の合計とが合致しない場合がある

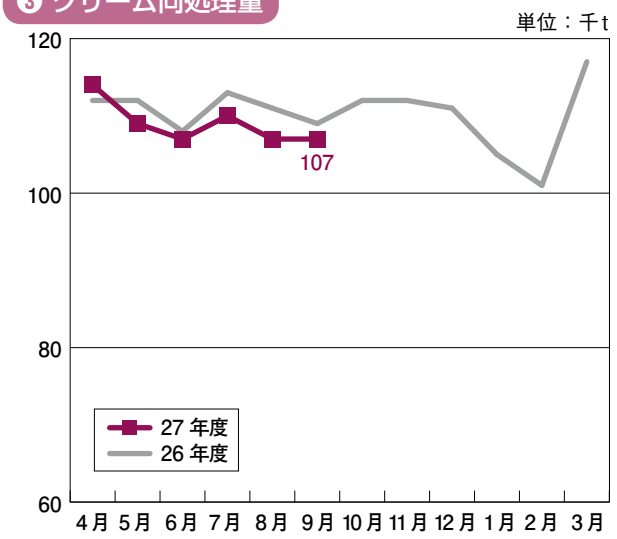
❶ 牛乳等向処理量



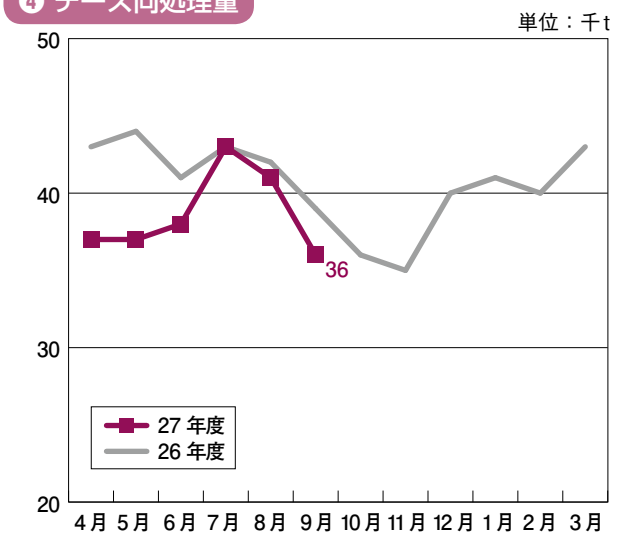
❷ 特定乳製品向処理量



❸ クリーム向処理量



❹ チーズ向処理量



特定乳製品（脱脂粉乳・バター）の国内生産及び出回り量の推移

※生乳需給動向の指標となる特定乳製品の生産及び消費の動向です。

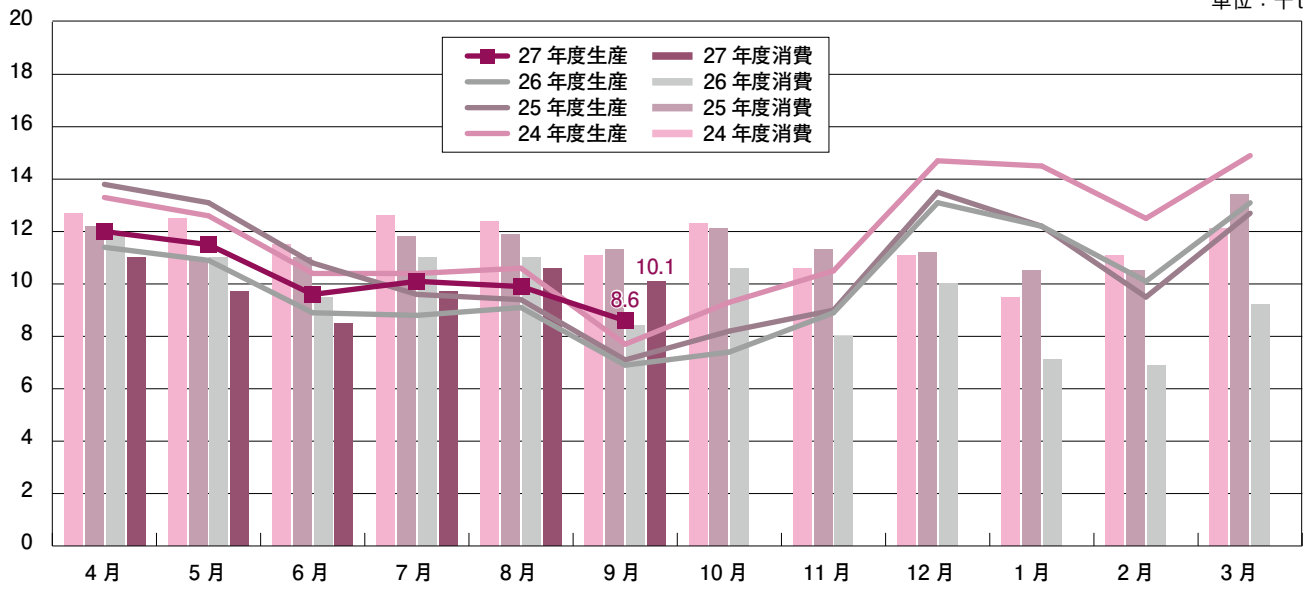
単位：千t

年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量	年月	脱脂粉乳生産量	脱脂粉乳消費量	バター生産量	バター消費量
2014. 4月	11.4	11.8	6.3	6.4	2015. 4月	12.0	11.0	6.1	5.7
5月	10.9	11.0	5.7	5.0	5月	11.5	9.7	6.0	5.1
6月	8.9	9.5	4.9	4.7	6月	9.6	8.5	5.0	5.1
7月	8.8	11.0	4.7	5.7	7月	10.1	9.7	5.3	4.2
8月	9.1	11.0	4.7	5.2	8月	9.9	10.6	5.2	5.4
9月	6.9	8.4	3.5	3.7	9月	8.6	10.1	4.2	3.4
10月	7.4	10.6	3.9	5.2	10月				
11月	8.9	8.0	4.0	4.0	11月				
12月	13.1	10.0	5.7	5.6	12月				
2015. 1月	12.2	7.1	6.7	4.4	2016. 1月				
2月	10.1	6.9	5.2	5.0	2月				
3月	13.1	9.2	6.2	6.1	3月				
年 度 計	120.8	114.5	61.5	61.0	年 度 計	61.8	59.6	31.9	28.9

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、農畜産業振興機構、農林水産省生産局畜産部牛乳乳製品課調べ

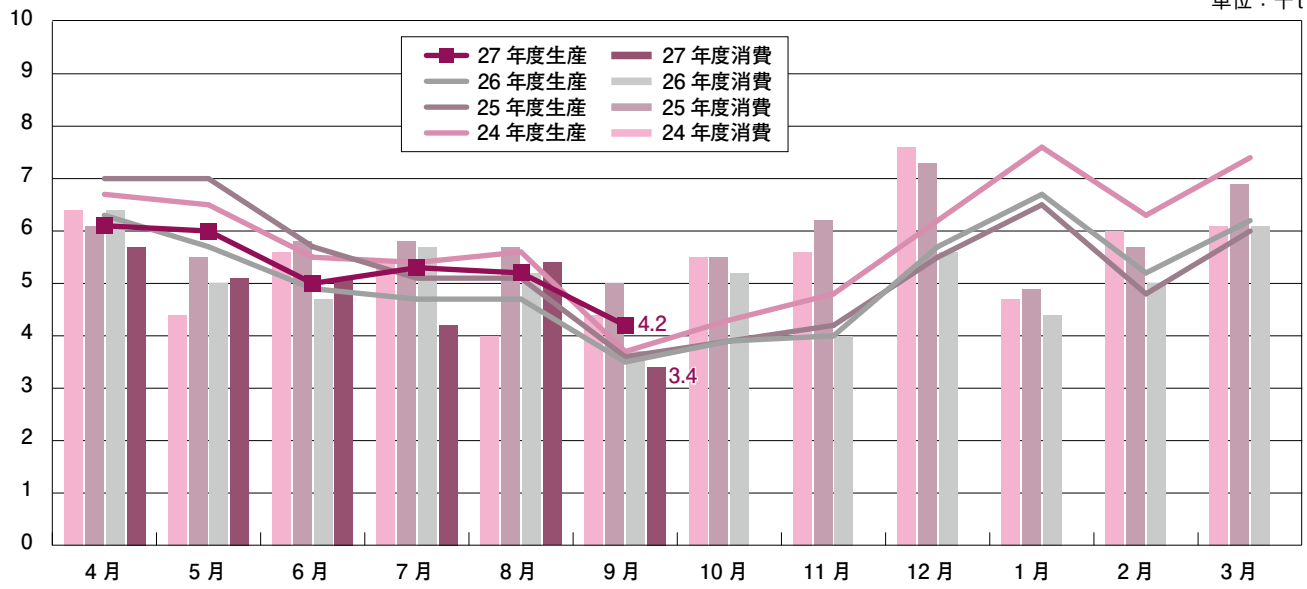
脱脂粉乳の生産及び出回り量推移

単位：千t



バターの生産及び出回り量推移

単位：千t

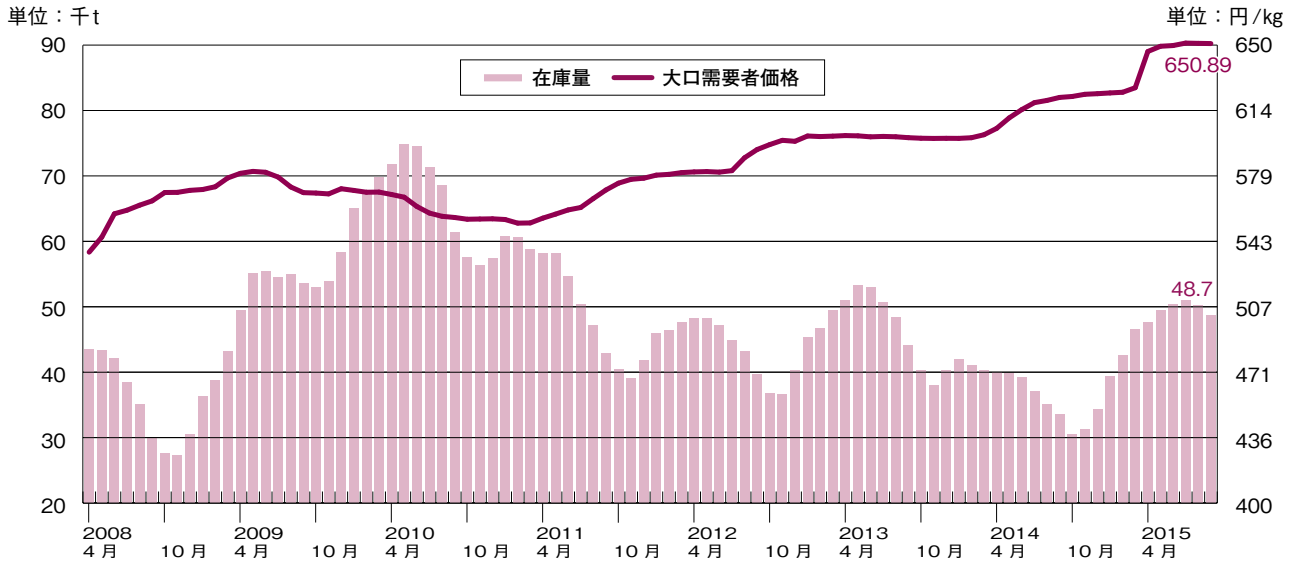


脱脂粉乳・バターの国内在庫及び大口需要者価格の月別推移

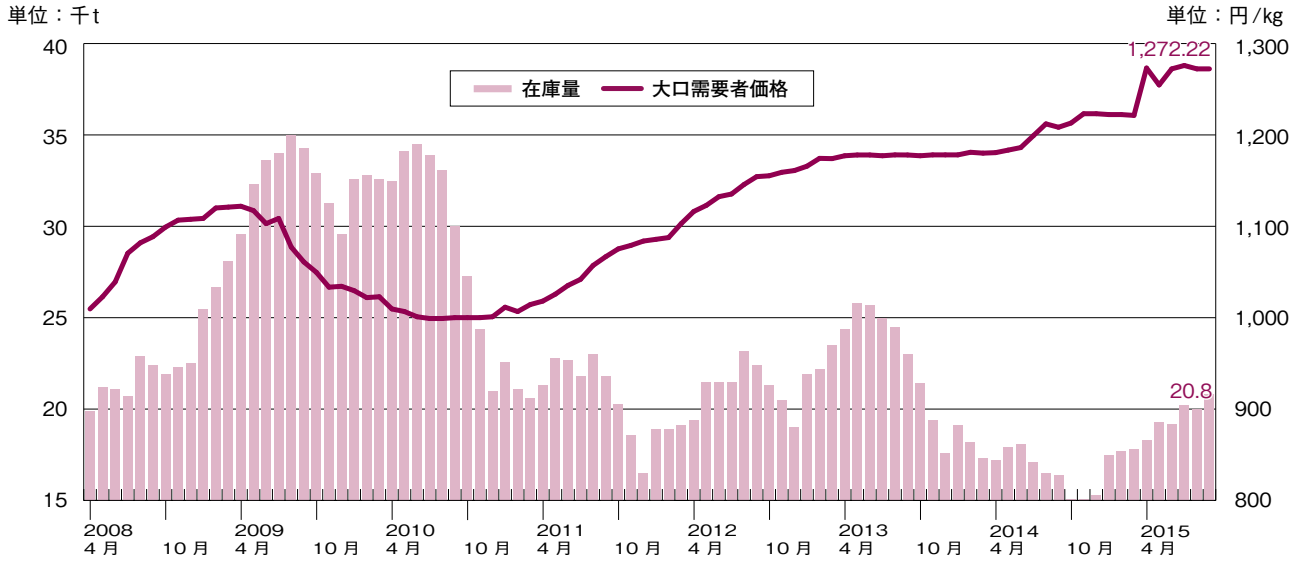
区　分	バター		脱脂粉乳		区　分	バター		脱脂粉乳	
	期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格		期末在庫量	大口需要者価格	期末在庫量	大口需要者価格
年月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg	年月	千t	価格 円/kg	千t	価格 円/kg
2014. 4月	17.2	1,181	39.9	604.56	2015. 4月	18.3	1,273	47.6	646.56
5月	17.9	1,183	39.8	610.30	5月	19.3	1,255	49.4	649.41
6月	18.1	1,186	39.2	614.85	6月	19.2	1,272	50.4	649.81
7月	17.1	1,199	37.0	618.63	7月	20.2	1,276	50.9	651.15
8月	16.5	1,212	35.1	619.85	8月	20.0	1,272	50.2	651.00
9月	16.4	1,208	33.6	621.48	9月	20.8	1,272	48.7	650.89
10月	15.1	1,213	30.4	622.00	10月				
11月	15.1	1,223	31.3	623.19	11月				
12月	15.3	1,223	34.3	623.52	12月				
2015. 1月	17.5	1,222	39.4	623.93	2016. 1月				
2月	17.7	1,222	42.6	624.30	2月				
3月	17.8	1,221	46.5	626.78	3月				
年 度 計	201.7	—	449.1	—	年 度 計	117.8	—	297.2	—

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」、大口需要者価格

脱脂粉乳　国内在庫・大口需要者価格推移



バター　国内在庫・大口需要者価格推移



麺 noodle

島原手延うどん平造り21束（化粧箱入）

税込**2,808円**（本体2,600円）

●平造りうどん1束50g×21束
〈アレルゲン物質〉小麦
お取扱期間　11/16~1/31

全 普

伝統の手延技術を駆使して造られる「手延うどん島原平造り」はつるっとして、コシの強い口当たり滑らかな麺です。また、卵型の麺はのど越し良くお楽しみいただけます。

［製造者］**株式会社素兵衛屋（長崎県南島原市）**

島原手延うどん あごだしセット（化粧箱入）

税込**3,780円**（本体3,500円）

●平造りうどん1束50g×4×4袋
●手延うどん1束50g×4×2袋
●あごだしスープ1袋10g×14
〈アレルゲン物質〉小麦／さば／大豆
お取扱期間　11/16~1/31

全 普

伝統の手延技術を駆使した「手延平造りうどん」とゆで時間を考慮した細造りの「島原うどん」そして、スープを加えた詰め合わせセットです。つるっとしてコシのある麺をお楽しみできます。

［製造者］**株式会社素兵衛屋（長崎県南島原市）**

全酪ラーメンセット

税込**4,536円**（本体4,200円）

●全酪博多ラーメン（とんこつ味×5、みそ味×5、しょうゆ味10）
〈アレルゲン物質〉小麦／大豆／牛肉／鶏肉／豚肉／魚介類／ゼラチン
お取扱期間　11/16~1/31

全 短

豚がら、鶏がらをじっくり煮込んだコクのある博多とんこつラーメンとみそ風味を生かしたラーメン。各種野菜エキス等をバランスよく調整したキレのあるしょうゆのラーメンセットです。

［製造者］**江崎製麺有限会社（福岡県筑後市）**

デザート dessert

八ヶ岳野辺山高原 レアチーズケーキ12個入り

税込**3,500円**（本体3,241円）

●プレーン4個
●ヨーグルト風味4個
●ストロベリー4個
〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　11/16~1/31

全 短

コクのあるまろやかな味のレアチーズケーキに仕上げました。風味豊かな高原のさわやかなデザートをお楽しみください。

［販売者］**株式会社ヤツレン（長野県南佐久郡）**

乳蔵 北海道バームクーヘン（メイプル）

税込**3,888円**（本体3,600円）

●乳蔵 北海道バームクーヘン（メイプル）×2個
〈アレルゲン物質〉乳／卵／小麦／大豆
お取扱期間　11/16~1/31

簡易 短

北海道産の小麦・生クリームを使用し、ゆっくり丁寧に何層にも重ねて焼き上げたバームクーヘン。メイプルシュガーで香り豊かな甘さに仕上げました。

［販売者］**株式会社江戸屋（北海道帯広市）**

ロールケーキと大福の詰め合わせ

税込**3,348円**（本体3,100円）

●ロールケーキ264g×1
●生クリーム大福100g×2
●抹茶クリーム大福100g×2
●きなこクリーム大福100g×2
〈アレルゲン物質〉卵／乳／小麦／大豆
お取扱期間　11/16~1/31

冷凍 短

しっとり食感のスポンジでミルク風味豊かなホイップクリームを巻いたロールケーキと、なめらかな餅で生クリーム入りのホイップクリームと粒あんを包み込んだ生クリーム大福、抹茶風味のなめらかな餅で抹茶風味のホイップクリームと粒あんを包み込んだ抹茶クリーム大福、きなこ風味のなめらかな餅で国産きな粉・沖縄黒糖を使用したきなこホイップクリームと粒あんを包み込んだきなこクリーム大福を詰め合わせたギフトセットです。

［製造者］**大山乳業農業協同組合（鳥取県東伯郡琴浦町）**

奥中山アイスSセット

税込**4,212円**（本体3,900円）

●バニラ130ml×2個
●ブドウ130ml×2個
●洋なし130ml×2個
●イチゴ130ml×2個
〈アレルゲン物質〉乳／卵

奥中山アイスIセット

税込**5,508円**（本体5,100円）

●バニラ130ml×2個
●ブドウ130ml×2個
●洋なし130ml×2個
●イチゴ130ml×2個
●コーヒー130ml×2個
●抹茶130ml×2個
〈アレルゲン物質〉乳／卵
お取扱期間　11/16~1/31

冷凍 短

岩手県の奥中山高原で育ったカナディアンジャージー種の生乳を贅沢に使った、コクのあるスーパープレミアムな味わいのアイスクリームです。着色料等を使用せず、自然のおいしさにこだわりました。SセットとIセットの2種類のセットをご用意しております。

［製造者］**奥中山高原農協乳業株式会社（岩手県二戸郡一戸町）**

長崎カステラセット 2本入り

税込**3,024円**（本体2,800円）

●牛乳風味370g×1本
●チーズ風味370g×1本
※10等分カットタイプ
〈アレルゲン物質〉小麦／乳／卵

長崎カステラセット 3本入り

税込**4,104円**（本体3,800円）

●牛乳風味370g×1本
●チーズ風味370g×1本
●蜂蜜風味370g×1本
※10等分カットタイプ
〈アレルゲン物質〉小麦／乳／卵
お取扱期間　11/16~1/31

全 普

牛乳、チーズをふんだんに使用したカステラはふっくらで、しっとりとしたキメ細やかな生地が特徴です。地域ブランド「長崎カステラ」の認定工場で製造しております。2本入りと3本入りの2種類のセットをご用意しております。

［製造者］**有限会社杉谷本舗（長崎県諫早市）**

ZENRAKU Winter Gift 2015

今年も「全酪連ギフトセット」お取り扱いの季節となりました。
毎年多くの皆様よりご愛顧いただいていることに、感謝申し上げます。
この冬ご案内する商品は、全酪連オリジナルの乳製品セットの他に、定番であるハム・ソーセージセット、アイスクリーム、麺類など幅広い商品を取りそろえている他、今回新たに「八ヶ岳野辺山高原レアチーズケーキ」をご用意させていただきました。このセットは、コクのあるまろやかな味のレアチーズケーキ仕上げになっており、風味豊かな高原デザートがお楽しみいただける商品となっております。
また、今季のＺシリーズには、Ｚ-Ｂ・Ｃにマリンフード㈱社製の「私の燻製バター 7g×8」と「乳酪バター 7g×8」の２種類を組み入れてご用意させていただきました。
今季も十分にご用意はしておりますが、数に限りがある商品もございますので、お早めのご注文をお願い致します。
お世話になった方々や大切な方々への贈り物に、是非、全酪連ギフトセットをご利用いただきますよう、宜しくお願い致します。

チーズ cheese

Z-A 税込3,942円(本体3,650円)

- 酪農家チーズ225g×1個
- 酪農家6Pチーズ108g×1個
- 酪農家とろけるスライスチーズ126g×1個
- 酪農家スライスチーズ126g×2個
- 酪農家スモークチーズ120g×1個

〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　11/16~1/31

冷蔵 簡易 短

Z-B 税込4,990円(本体4,620円)

- 酪農家6Pチーズ108g×2個
- 全酪とろけるスライスチーズ119g×1個
- 全酪スライスチーズ119g×1個
- 酪農家スモークチーズ120g×1個
- ぬるチーズ150g×1個
- 私の燻製バター7g×8(2個)
- 乳酪バター7g×8(2個)

〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　11/16~1/31

冷蔵 簡易 短

Z-C 税込5,670円(本体5,250円)

- 酪農家6Pチーズ108g×2個
- 全酪とろけるスライスチーズ119g×1個
- 全酪スライスチーズ119g×2個
- 酪農家スモークチーズ120g×1個
- ぬるチーズ150g×1個
- パウダーチーズ70g×1個
- 私の燻製バター7g×8(2個)
- 乳酪バター7g×8(2個)

〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　11/16~1/31

冷蔵 簡易 短

東毛酪農 カマンベール3個セット 税込2,830円(本体2,620円)

- カマンベールチーズ100g×3個

〈アレルゲン物質〉乳
お取扱期間　11/16~1/31

冷蔵 簡易 短

おいしいチーズを造るために厳選した農家の生乳を使い、伝統的な手造りの製法で造られたカマンベールチーズ（ナチュラルチーズ）を熟成した食べ頃の状態で密封パックしました。パッケージを開けた時が『食べ頃』で、やさしい味わいが楽しめます。「第４回オール・ジャパン・ナチュラルチーズコンテスト」のソフトタイプチーズ部門で優秀賞に輝く、珠玉の逸品です。

［製造者］東毛酪農業協同組合（群馬県太田市新田市野井町）

加工肉 meat

DLG-420G(2014年金賞セット)

税込4,320円(本体4,000円)

- ペッパーシンケン72g×1個
- ハーブシンケン80g×1個
- 熟成乾塩ベーコン80g×1個
- フライシュケーゼ80g×1個
- 辛口ポチキウィンナー150g×1個
- ほそびきウィンナー150g×1個

〈アレルゲン物質〉豚肉／大豆

お取扱期間　11/20~12/20

冷蔵 簡易 短

GT-400

税込4,320円(本体4,000円)

- 熟成糸巻ロースハム360g
- ばら焼豚200g

〈アレルゲン物質〉小麦／大豆／豚肉

お取扱期間　11/20~12/20

冷蔵 簡易 短

SP-510

税込5,400円(本体5,000円)

- 熟成糸巻ロースハム320g
- 焼豚310g
- ベーコン280g

〈アレルゲン物質〉小麦／大豆／豚肉

お取扱期間　11/20~12/20

冷蔵 簡易 短

一本一本丁寧に糸で巻き風味豊かにスモークしたロースハム、タレに漬け込んでじっくり焼き上げた風味豊かな焼豚、豚ばら肉をじっくり漬け込み仕上げたベーコンのセットです。

[製造者]**大山ハム株式会社**

R-051

税込5,400円(本体5,000円)

- ローストビーフ(国産牛)200g×2個

〈アレルゲン物質〉牛肉／乳成分／小麦／大豆／鶏肉／りんご

お取扱期間　11/20~12/20

冷凍 簡易 短

焙煎胡椒とドイツ産岩塩でシンプルに味付けして国産牛の旨みをそのまま閉じ込めました。国産牛に旨みがじっくり詰まった存在感たっぷりのローストビーフです。

OC-40

税込3,908円(本体3,619円)

- 北海道フランク220g×1個
- 北海道認証ベーコン80g×1個
- あらびきウィンナー110g×1個
- ハーブウィンナー135g×1個
- 行者にんにくウィンナー120g×1個
- あらびきフランク200g×1個

〈アレルゲン物質〉乳／豚肉

お取扱期間　11/16~1/31

冷蔵 簡易 普 短

OC-50

税込5,184円(本体4,800円)

- ペッパーポーク320g×1個
- 北海道認証ベーコン300g×1個
- あらびきウィンナー110g×1個
- ガーリックウィンナー110g×1個
- バジリコフランク240g×1個
- あらびきフランク200g×1個

〈アレルゲン物質〉豚肉

お取扱期間　11/16~1/31

冷蔵 簡易 普 短

おこっぺハムは、冷涼なオホーツクの大気の中で、北海道産の厳選豚肉のみを使用して、「おいしさ」を最大限引き出せるよう独自の塩漬製法によりじっくりと時間と手間をかけて製造しております。主原料は100%道内産の素材を使い、北海道らしさや将来性を兼ね備えた食品に対して認定される「道産食品独自認証制度」の第1号の認証を受け、「品質=おいしさ」にこだわった商品作りをしています。

[製造者]**株式会社オホーツククリーンミート**

全国酪農業協同組合連合会

●本所 酪農部（東京支所）　〒108-0014 港区芝4-17-5 相鉄田町ビル7F
TEL 03-5931-8008 FAX 03-5931-8025

●札幌支所　〒060-0003 札幌市中央区北3条西7-1 酪農センター
TEL 011-241-0765 FAX 011-241-0769

●仙台支所　〒980-0021 仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル3F
TEL 022-221-5381 FAX 022-221-5384

●名古屋支所　〒460-0008 名古屋市中区栄1-16-6 名古屋三蔵ビル3F
TEL 052-209-5611 FAX 052-209-5614

●大阪支所　〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-14-10 新大阪トヨタビル6F
TEL 06-6305-4196 FAX 06-6305-4899

●福岡支所　〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-2-15事務機ビル7F
TEL 092-432-2121 FAX 092-431-6313

取扱上のご注意

1. 配送地区に制限のある場合もありますので、ご確認ください。なお、離島につきましては原則として配達できませんので、予めご了承ください。
2. お申込後のご返品、お取り消し(お届け先様ご不在、ご移転ご転居、受け取り拒否等による)扱いはいたしませんので予めご承知おきください。
3. お届け先様のご不在における取扱は、配送業者の取扱規定により対応します。
4. 掲載商品の価格には消費税及び配送料が含まれております。
5. 詰合せ内容・商品デザイン及び配列については、お断りなく一部変更する場合があります。
6. 商品は十分にご用意しておりますが、在庫がなくなり次第終了とさせていただきますのでご了承ください。
7. 冷凍 冷蔵 マークの付いている商品はそれぞれ冷凍、冷蔵でのお届けになります。
8. 簡易 全 マークの付いている商品はそれぞれ簡易包装、全包装となります。
また、表示のない商品には包装はありません。
(簡易包装とは、包装紙を帯状に商品に巻きつけた包装形態のことです。)
9. 普 短 マークの付いている商品はそれぞれ普通サイズ、短冊サイズの熨斗となります。

北海道 乳牛産地情報

平成27年11月1日現在

札幌支所 TEL 011-241-0765
釧路事務所 TEL 0154-52-1232
帯広事務所 TEL 0155-37-6051
道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ↑……強含み ↗……やや強含み →……横這い ↘……やや弱含み ↓……弱含み

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	27～32	→	札幌管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計97.6%、累計で98.4%、苫小牧管内月計で100.0%、累計で100.4%の実績となっている。 11月の初妊牛動向は1月分娩～2月分娩予定が中心となる。公共牧場からの下牧が終わる時期となり、比較的資源はあるものと思われるが、他地区からの購買客の参入等で荷動きは早くなると予想される。販売される腹はF1腹が中心となるが、高体型・高能力の牛が比較的いる地域でもありますので、様々な条件での購買が可能。
	初妊牛	50～58	→	
	経産牛	43～48	→	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	35～40	→	根釧管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で104.2%、累計で101.8%、中標津管内月計で101.4%、累計で100.5%の実績となっている。 11月の初妊牛動向は1月～2月の分娩中心となる。公共牧場からの下牧を終え、例年なら出回り頭数が増える時期となるが、地元での搾乳意欲が強く導入意欲も強い事から出回り頭数が少なくなる可能性がある。特に、雌雄選別腹の牛については導入希望が急増し、資源はひっ迫している。このような状況の中、希望条件の牛を探すのに時間を要する可能性がありますので、導入時期に余裕を持たせての注文をお願いします。
	初妊牛	57～63	→	
	経産牛	45～50	→	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	28～34	→	帯広管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で104.9%、累計で104.4%の実績となっている。 11月の初妊牛動向は1月分娩が中心の荷動きとなっているが、育成牛頭数の減少、道内外の大型牧場による導入の影響で初妊牛価格は高値が続いており、2ヵ月半から3ヵ月先の遠腹分娩予定の需要が多くなってきている。今月は例年であれば資源豊富な時期ではありますが、相場も強く荷動きが早くなっているため、早めの注文をお願いします。
	初妊牛	55～62	↗	
	経産牛	45～50	→	
道北管内	育成牛(10-12月令)	35～40	→	道北管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で100.6%、累計で101.0%、北見管内月計で101.2%、累計で100.6%の実績となっている。 11月の初妊牛の動向は1月～2月の分娩となるが、牧場からの下牧状況は例年より若干少なめである。資源的には、畜産物価格が上昇しているため、乳牛更新による自家保留が多くなっていることが挙げられる。依然として道内外の大型牧場の導入が続いていることにより大変厳しい状況が続いている。初妊牛の購買状況としては、F1腹の要望が依然として強い状況ではあるが、最近では雌雄選別腹の希望も多く、価格も強含みで推移している。
	初妊牛	55～62	↑	
	経産牛	45～50	→	
道内総括	育成牛(10-12月令)	28～35	→	道内の10月中旬までの生乳生産量前年比は102.3%、累計で101.6%の実績となっている。 11月の初妊牛動向は1月～2月の分娩が中心となる。全道的に夏季放牧からの下牧が終了し、販売頭数についても増加する時期に入る。しかし、酪農家の自家保留や生乳生産の意欲増で需給がひっ迫し、価格については前月並の横這いで動くと予想される。今後については、通常年内中には荷動きしない「3月腹」についても荷動きがあり、遠腹の注文が多くなると予想されるため、あらかじめ余裕を持った購買計画をされますよう、お願いいたします。
	初妊牛	56～61	↗	
	経産牛	45～50	→	

※上記相場は、血統登録牛(中クラス)の庭先選畜購買による予想相場です。庭先選畜購買のため、市場購買とは異なり、価格差が生じます。

人事異動

新	旧	氏名
■平成27年11月1日付昇進発令 狭山工場　品質管理課長	狭山工場　品質管理課	松　嵜　進

今月の表紙

権力争い

今月の表紙は、「第6回酪農いきいきフォトコンテスト」(第44回全国発表大会にて開催)で入選に輝いた作品「権力争い」(愛知県 栗田 なおみ氏撮影)です。思わず息を飲む臨場感ある一枚です。

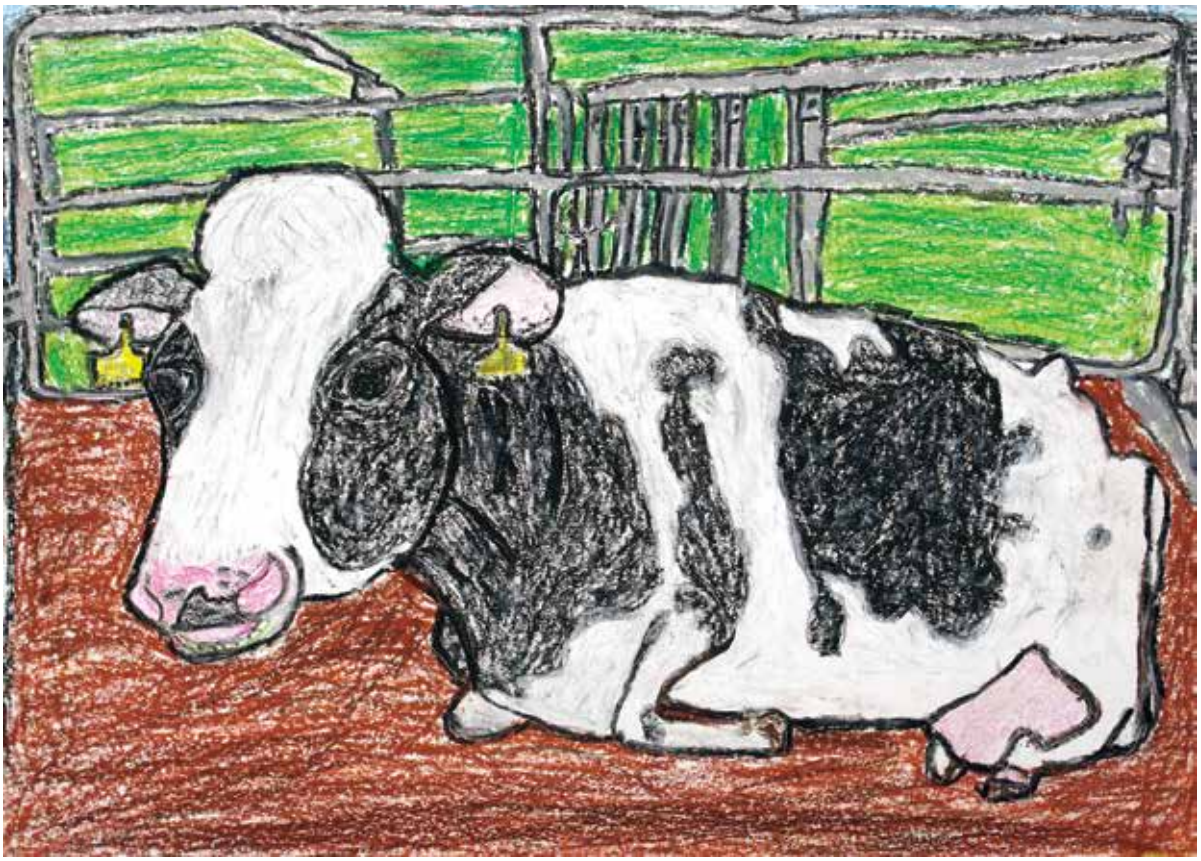
編集後記

▼今月号の酪農トピックスでは、茨城・神奈川県で行われたイベント開催報告を掲載しました。こうした間近で体験・体感できるイベントを通じて生産者と消費者が交流し、ひとりでも多くの方々の酪農理解につながることを願っています。

shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

平成27年11月10日発行(毎月1回10日発行)
ZENRAKUREN
MEMBER'S INFORMATION
全酪連会報　11月号　No.602

●編集・発行人　大森 一幸
●発行　全国酪農業協同組合連合会
〒108-0014　東京都港区芝四丁目17番5号
TEL 03-5931-8003
http://www.zenrakuren.or.jp/



反芻している牛
美祢市立秋吉小学校（西日本）3年　土山 希望

今月の らくのうこども ギャラリー 入賞作品紹介

今月の入賞作品は、美祢市立秋吉小学校（西日本）3年の土山 希望さんの作品です。牛舎での牛さんをしっかり観察して描き上げたリアリティのある作品です。顔の表情、手足の動きや体の模様に至るまで丁寧に描写しています。地面や背景の柵までも手を抜かずきっちり表現しているので、牛さんとの距離感まで感じ取れるような存在感のある作品に仕上がりました。

※この作品は本会と全国酪農青年女性会議共催の「第42回らくのうこどもギャラリー」で全国588点の応募作品から入賞12点に選ばれたものです。

主催　全国酪農青年女性会議